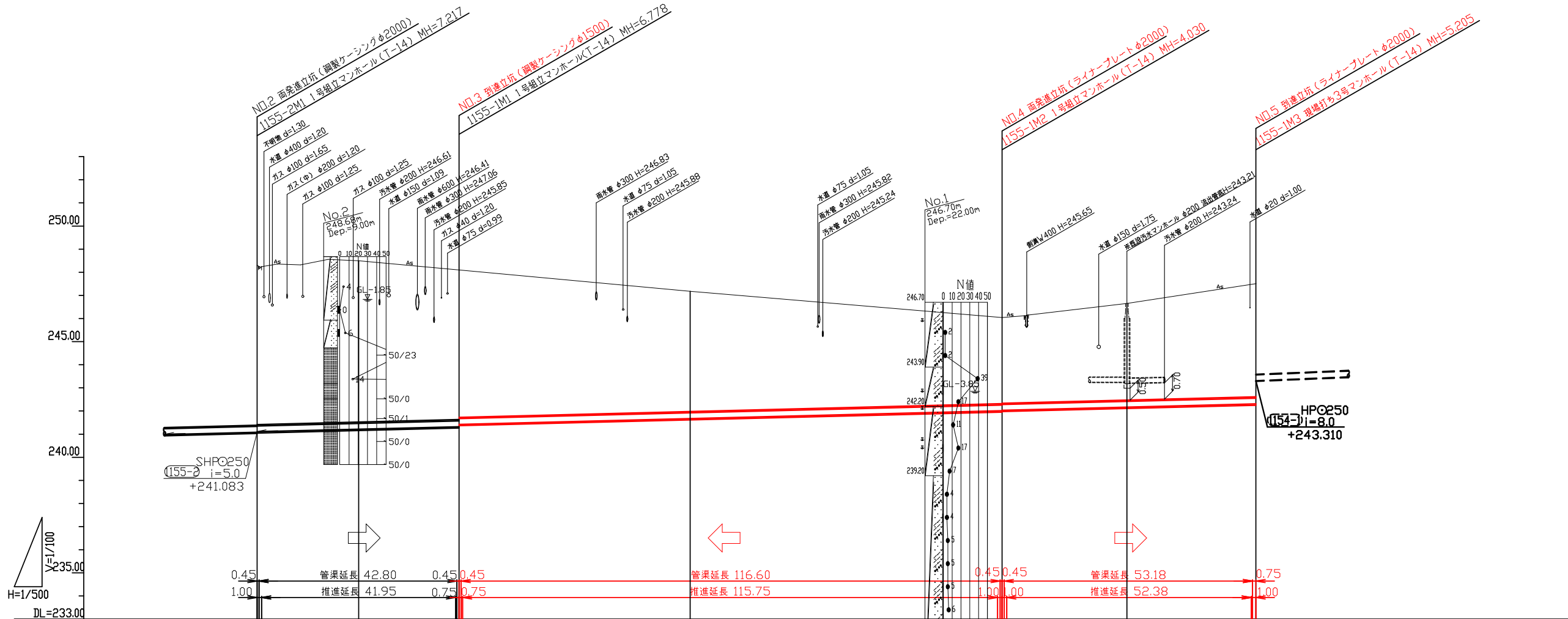


この図面は
50%縮小

件名	雷1幹線下水工事（推進1工区）		
施工箇所名	名張市 富貴ヶ丘5番地 地内		
図面の種類	平面図		
縮尺	1：500	図面番号	1
名張市			



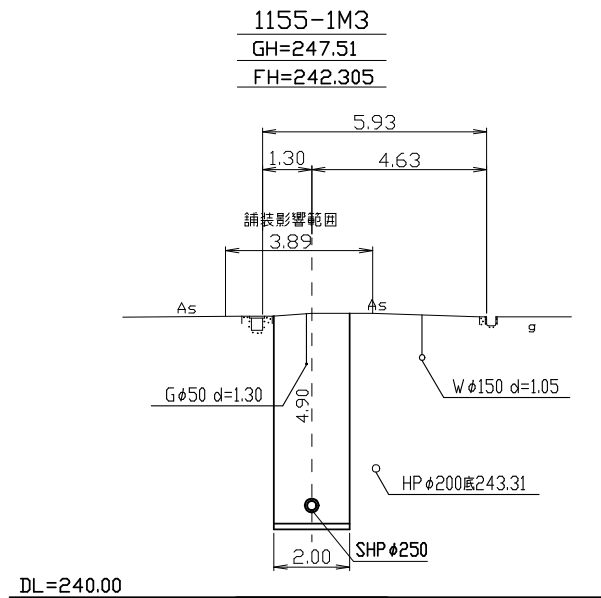
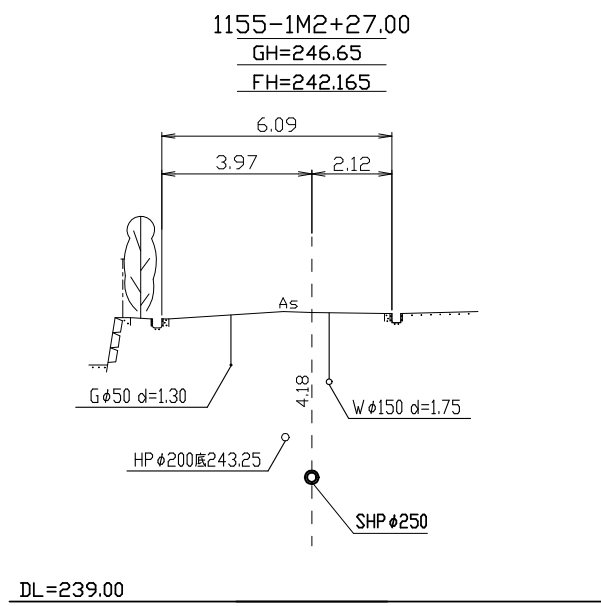
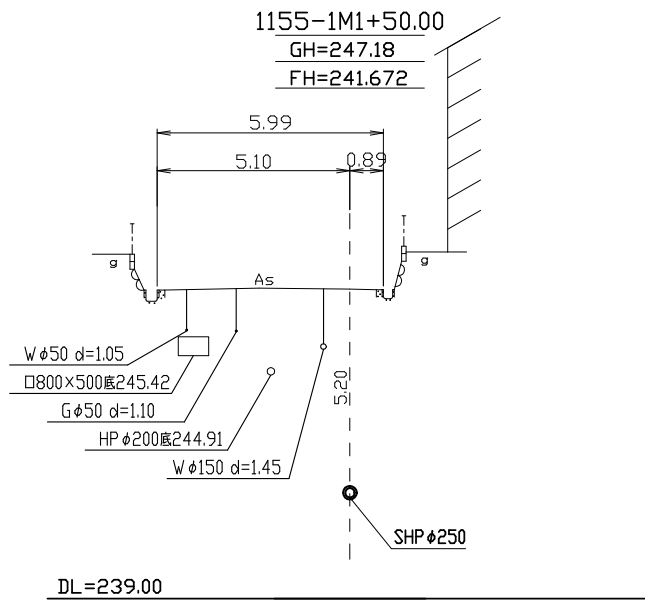
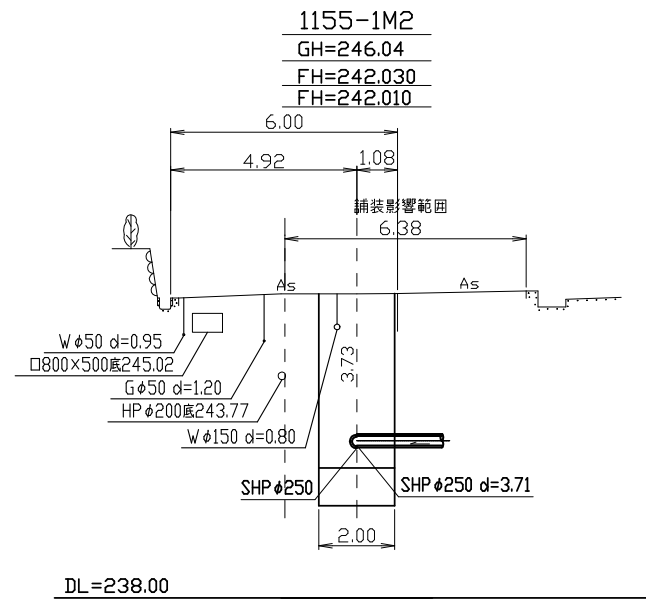
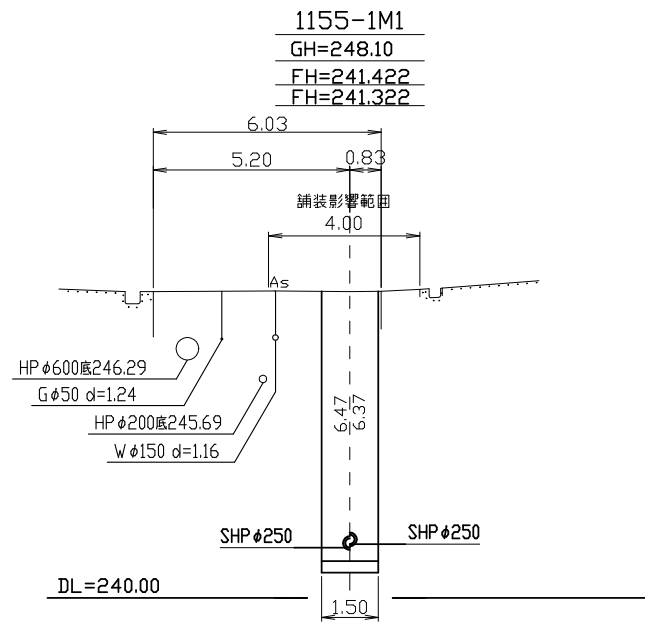
路線番号	1155-1		
管種・管径	SHPQ250		
勾配(パーミル)	5.0		
路線延長	216.10		
人孔間距離	43.70	117.50	54.38
補助/単独	補助		
工法	泥水加圧推進工法	泥水加圧推進工法	泥水加圧推進工法
支保工			
落差	0.020	0.000	0.100
土質	6.89	6.98	6.47
掘削深			6.37
管底高	241.103	241.213	241.322
地盤高	248.30	248.50	248.10
追加距離	0.00	22.00	43.70
単距離	0.00	22.00	21.70
測点	-1155-2M	+22.0	-1155-1M
			+50.0
			-1155-1M2
			+26.5
			-1155-1M3
			+27.88

・埋設物、取付管等で※を付しているのは本管縦断決定根拠になっている支障物件である。

この図面は 50%縮小

1155-1

件名	富1幹線下水工事(推進1工区)		
施工箇所名	名張市 富貴ヶ丘5番地 地内		
図面の種類	縦断図		
縮尺	V=1:100 H=1:500	図面番号	2
名 張 市			

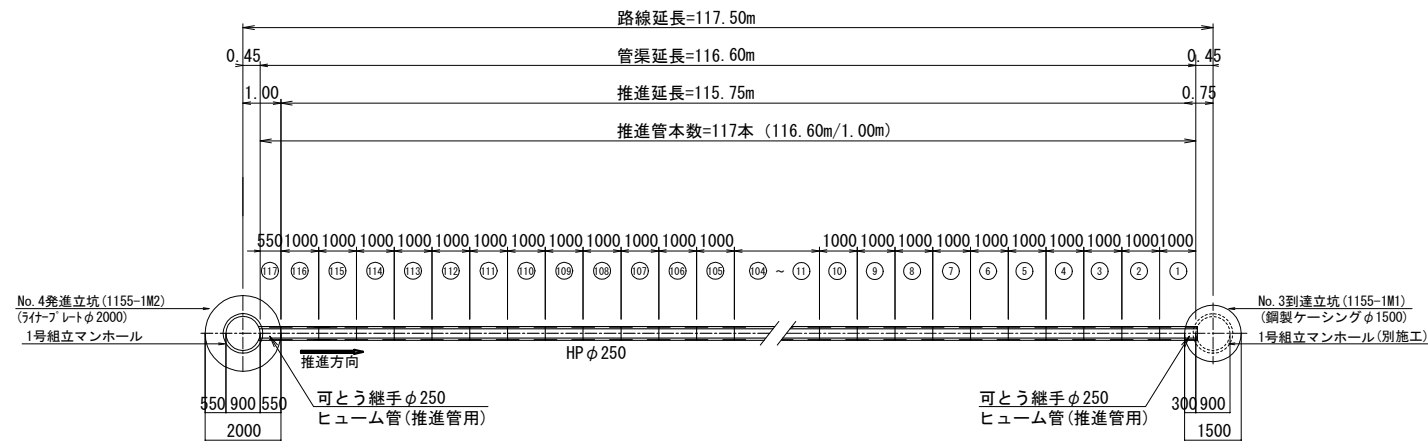


(1155-1)

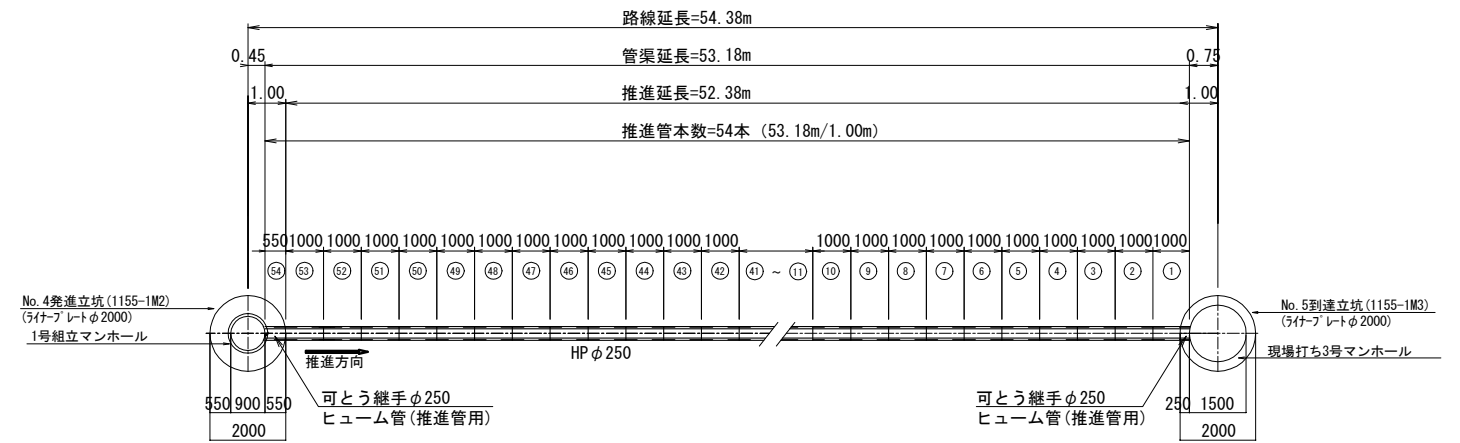
件名	雷1幹線下水工事(推進1工区)		
施工箇所名	名張市 富貴ヶ丘5番地 地内		
図面の種類	横断面		
縮尺	1:100	図面番号	3
名 張 市			

推進管割図 (1155-1路線) S=1:100

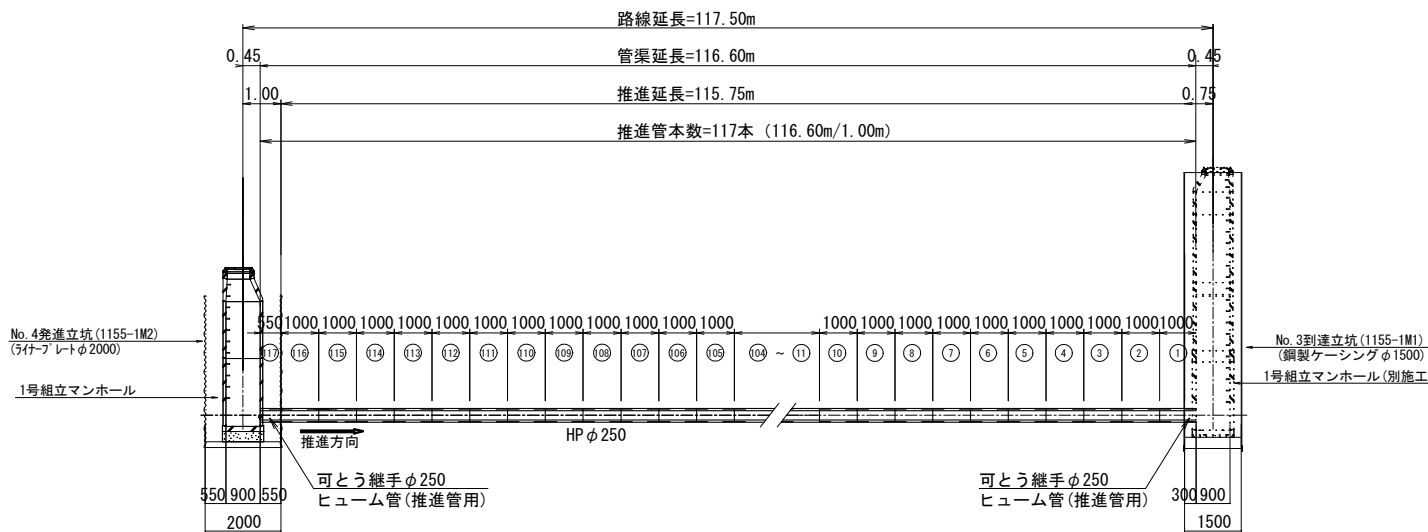
平面図 (No. 4→No. 3)



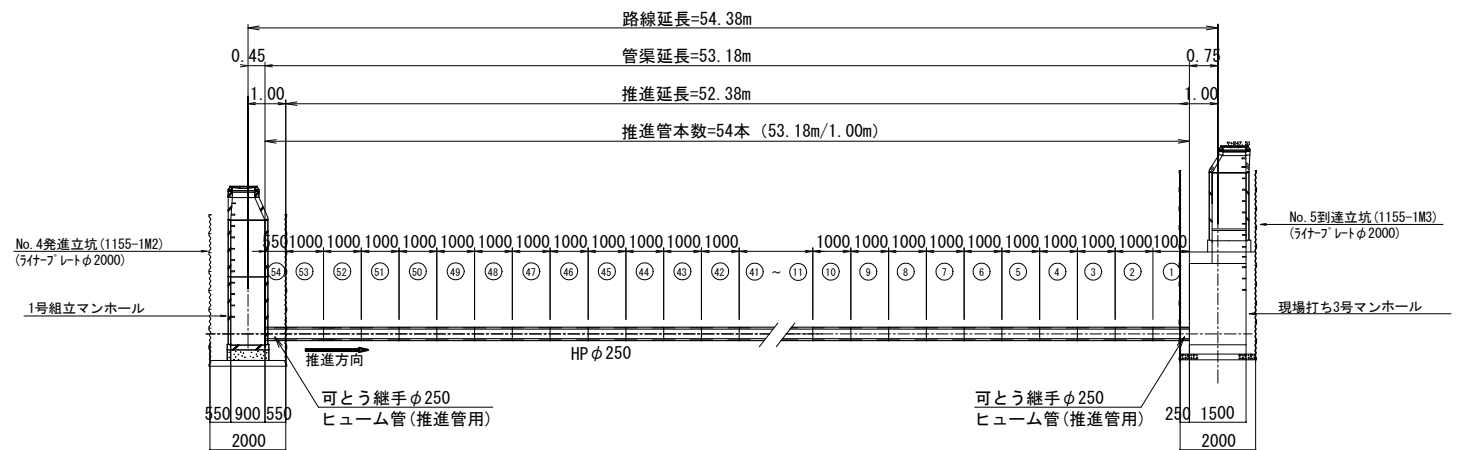
平面図 (No. 4→No. 5)



断面図 (No. 4→No. 3)



断面図 (No. 4→No. 5)



小口径高耐荷力方式 泥水工程式	
路線番号	1155-1
区間	No. 4→No. 3 No. 4→No. 5
管種・管径	小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管・φ250
種類	50N/mm ² I種 (JSWAS A-6) L=1.00m/本 (SJS)
路線延長 (m)	117.50 54.38
管渠延長 (m)	116.60 53.18
推進延長 (m)	115.75 52.38
立坑内布設延長 (m)	0.850 0.800
管本数	117 54

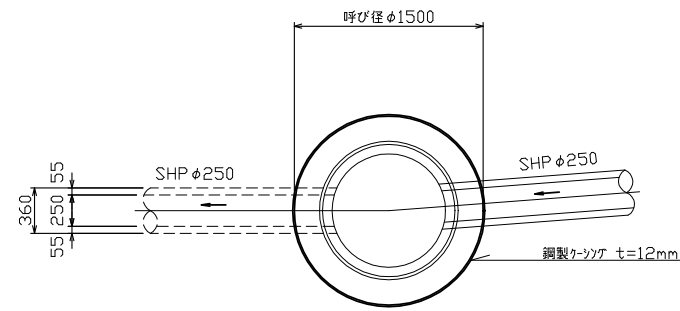
この図面は
50%縮小

件名	富1幹線下水工事 (推進1区)		
施工箇所名	名張市 富貴ヶ丘5番町 地内		
図面の種類	推進管割図		
縮尺	S=1:100	図面番号	4
名 張 市			

No.3 到達立坑仮設図

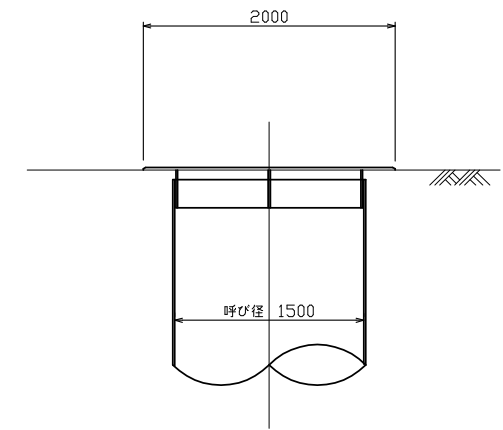
S=1:30

平面図

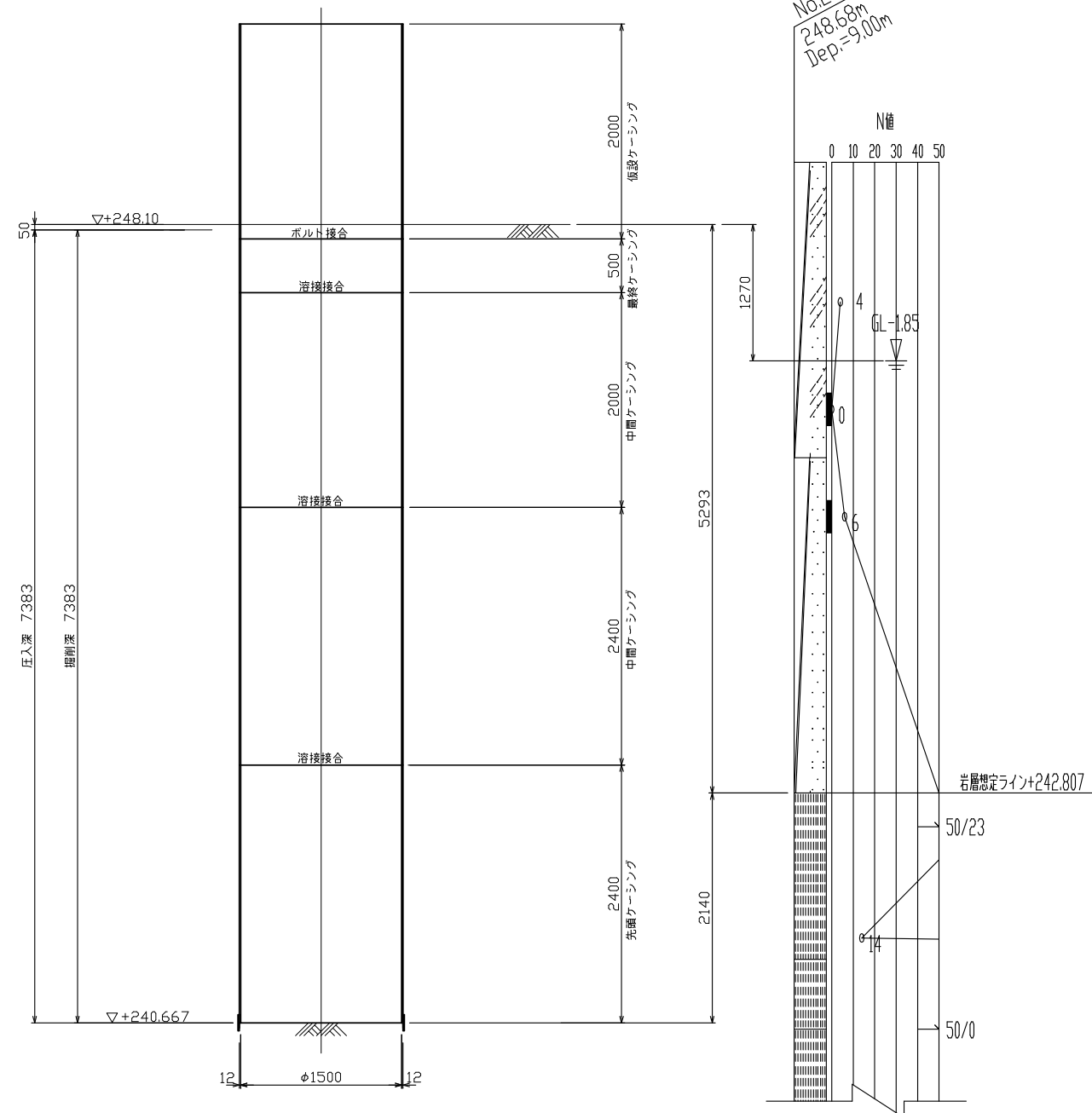


覆工平面図

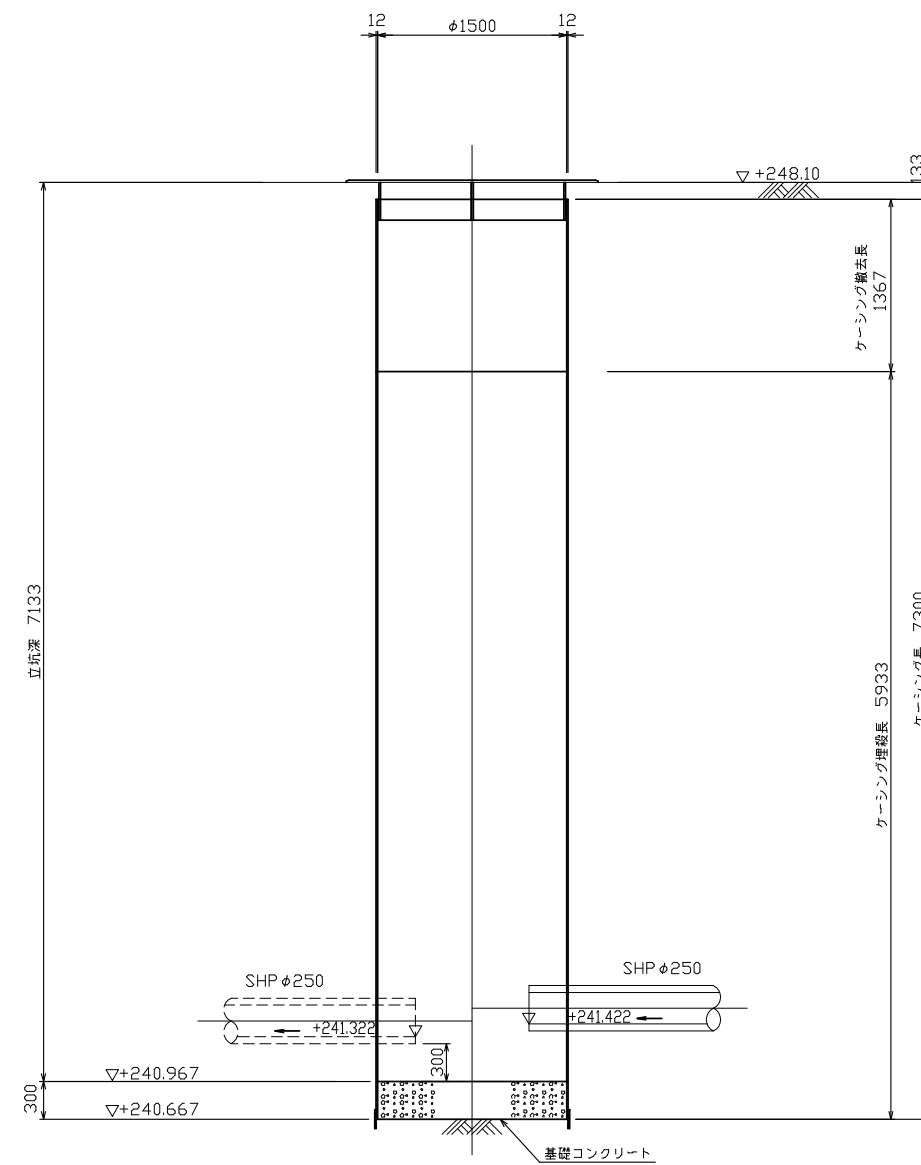
(参考図)



圧入掘削完了図



コンクリート打設・引抜完了図



この図面は
50%縮小

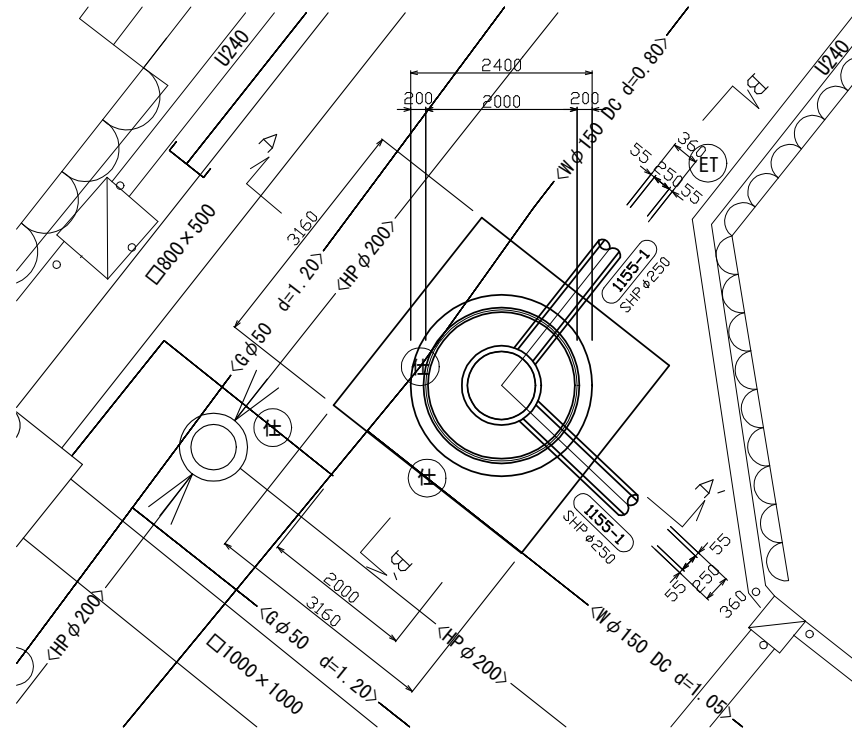
(1155-1)

件名	雷1幹線下水工事(推進1工区)		
施工箇所名	名張市 富貴ヶ丘5番地 地内		
図面の種類	N03 到達立坑仮設図		
縮尺	1:30	図面番号	5
名 張 市			

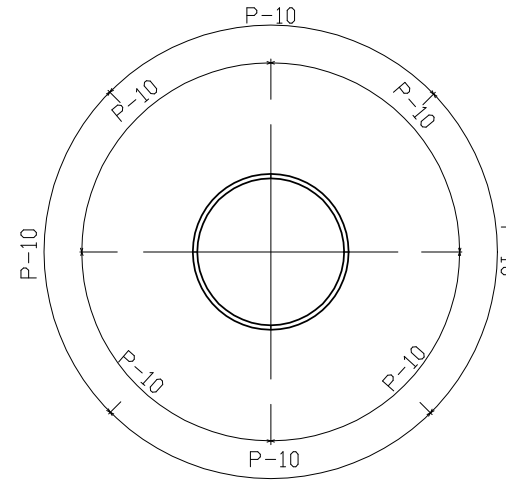
No.4 両発進立坑仮設図

S=1:50

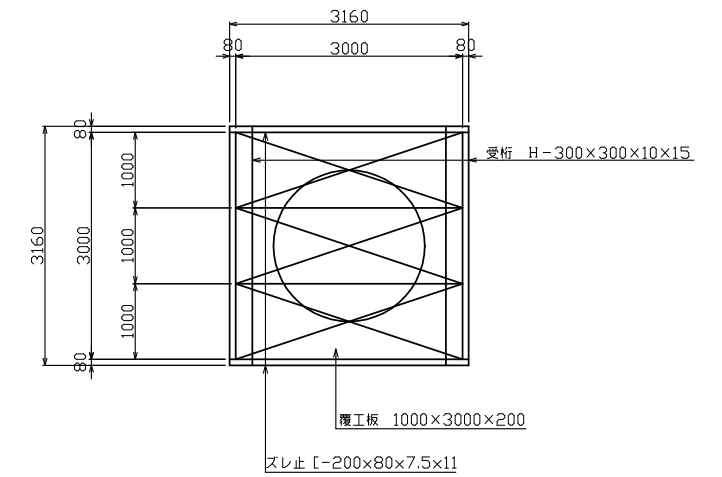
平面図



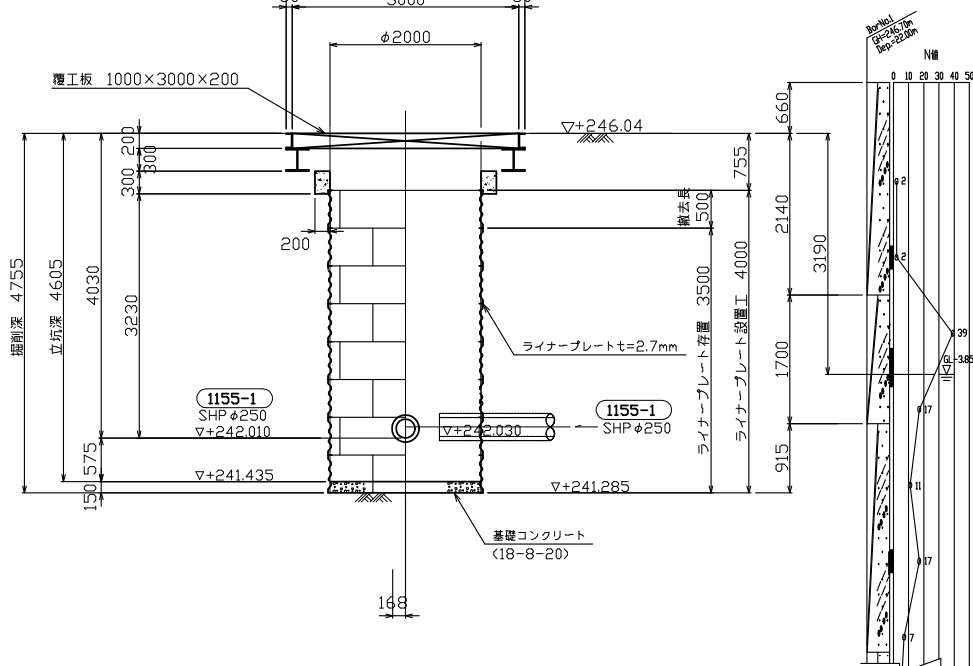
セクション構成図



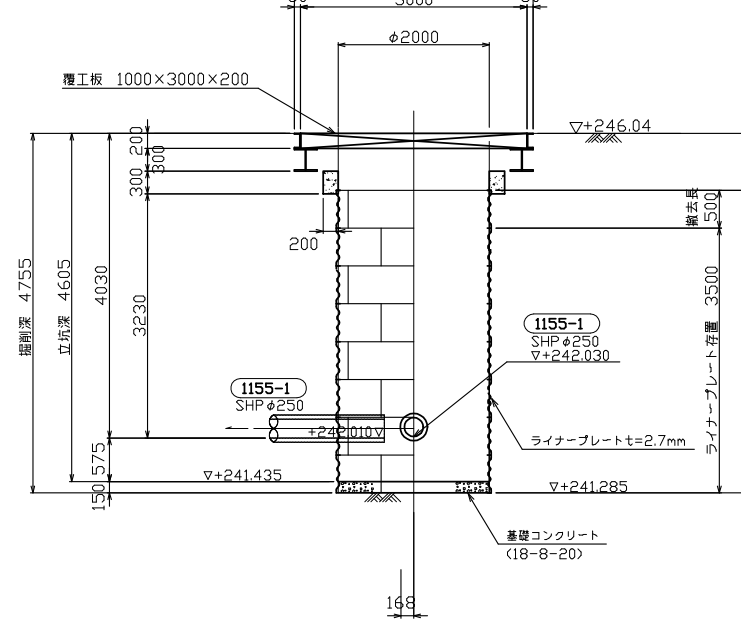
覆工平面図



A-A' 断面図



B-B' 断面図



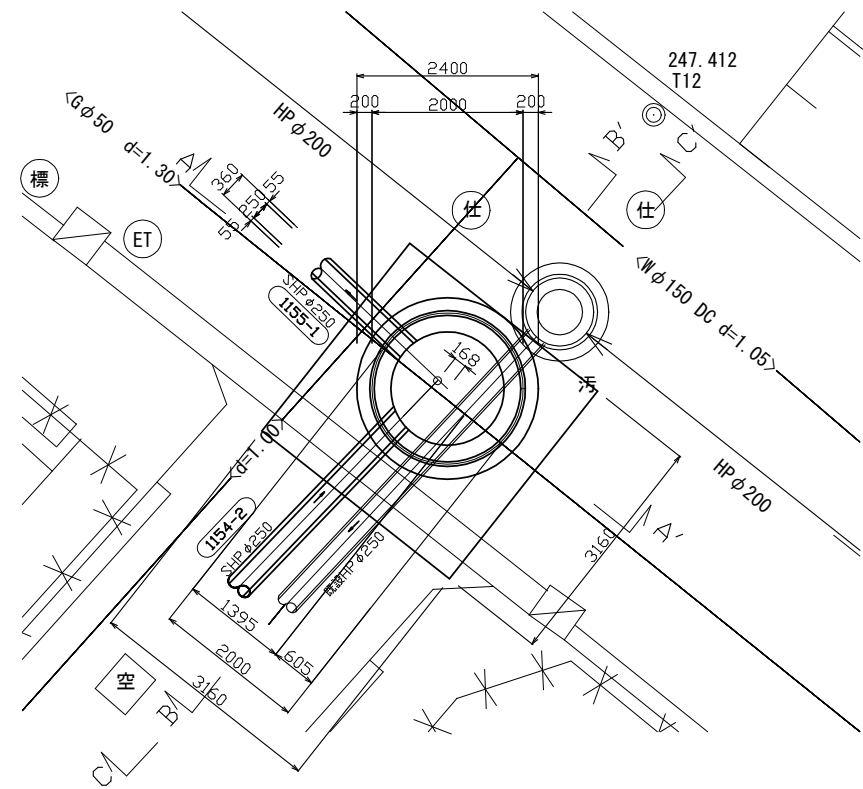
この図面は
50%縮小

件名	第1幹線下水工事(推進1工区)		
施工箇所名	名張市 富貴ヶ丘5番地 地内		
図面の種類	N05 到達立坑仮設図		
縮尺	1:50	図面番号	6
名 張 市			

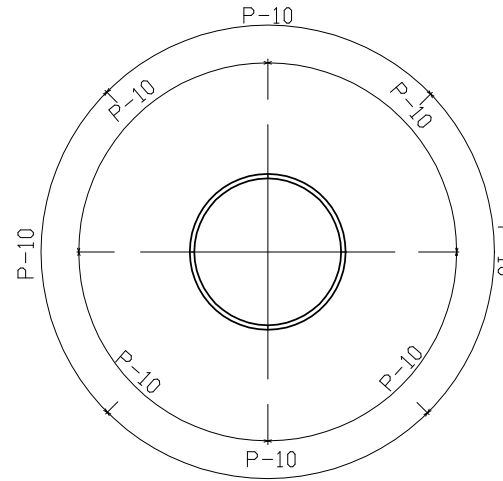
No.5 到達立坑仮設図

S=1:50

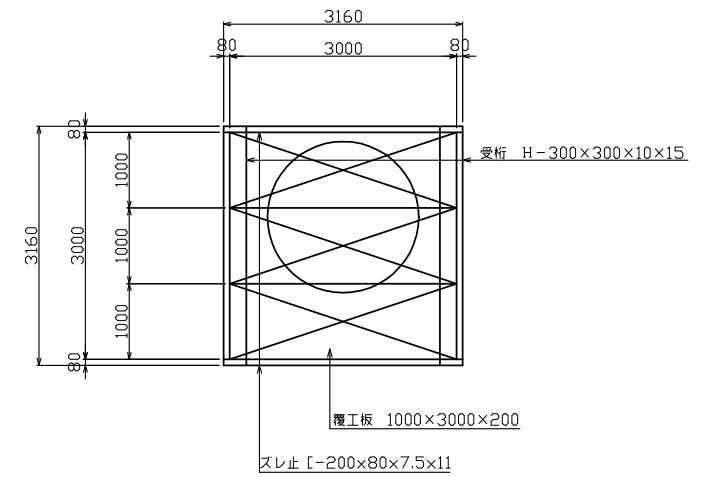
平面図



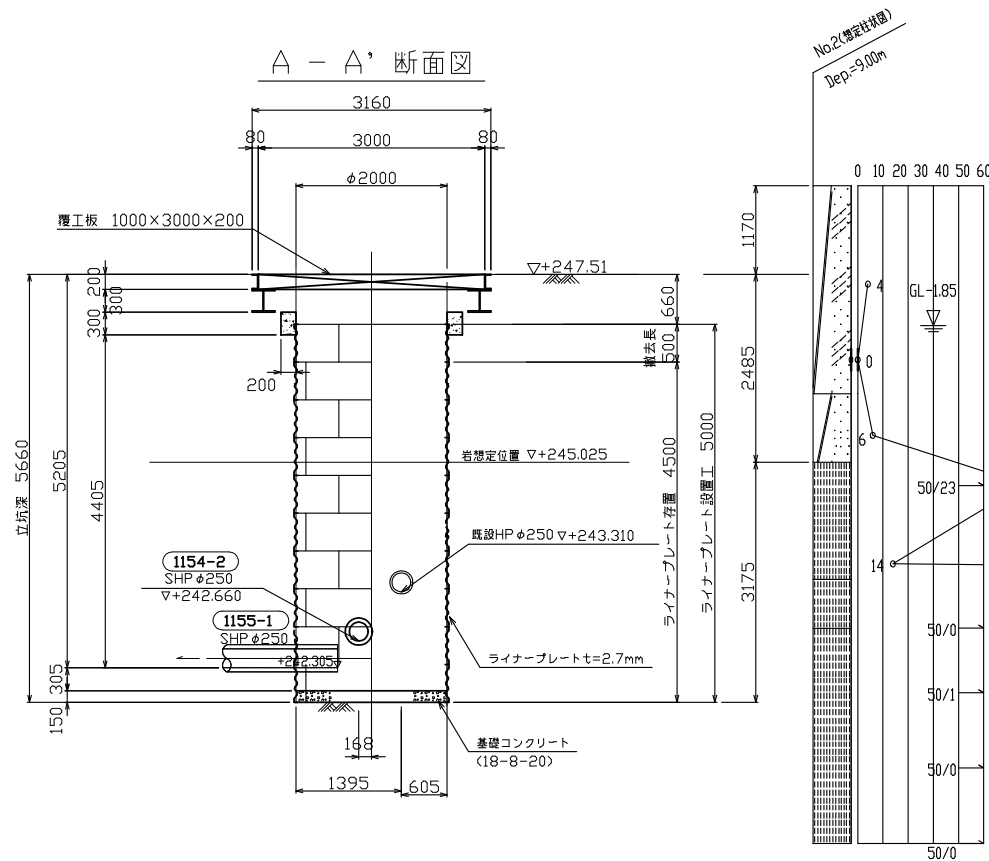
セクション構成図



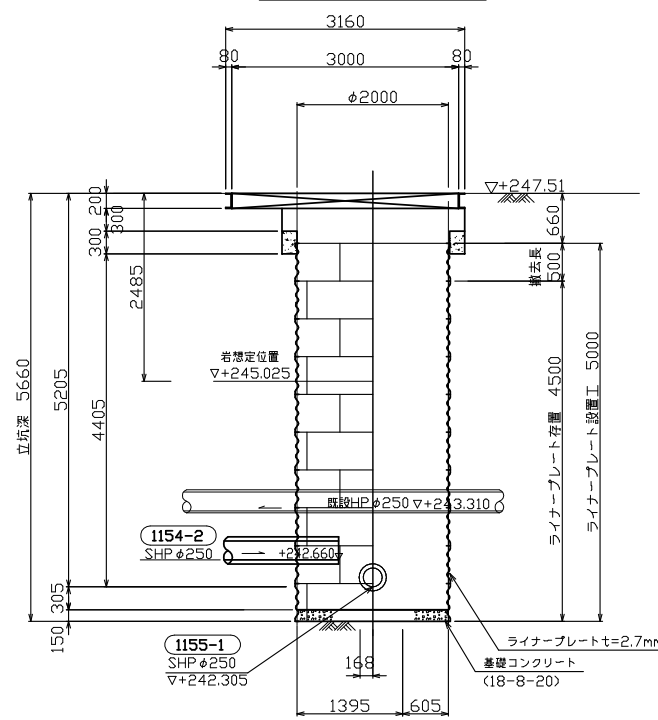
覆工平面図



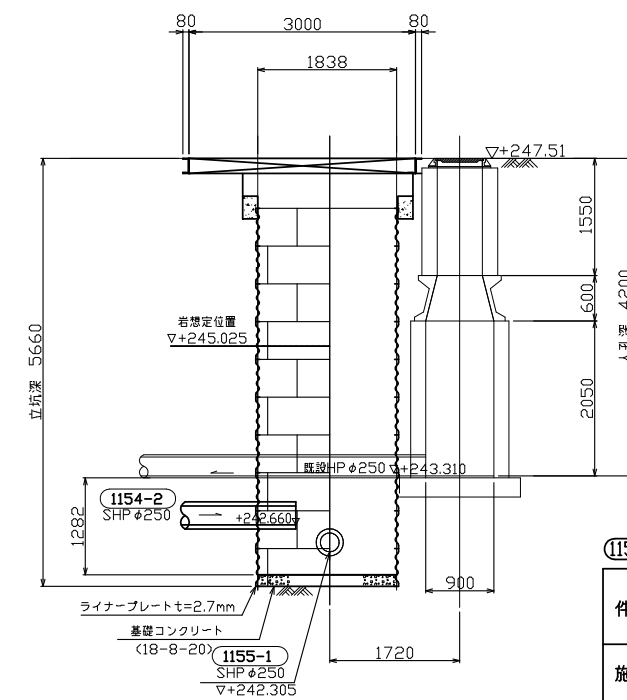
A-A' 断面図



B-B' 断面図



C-C' 断面図



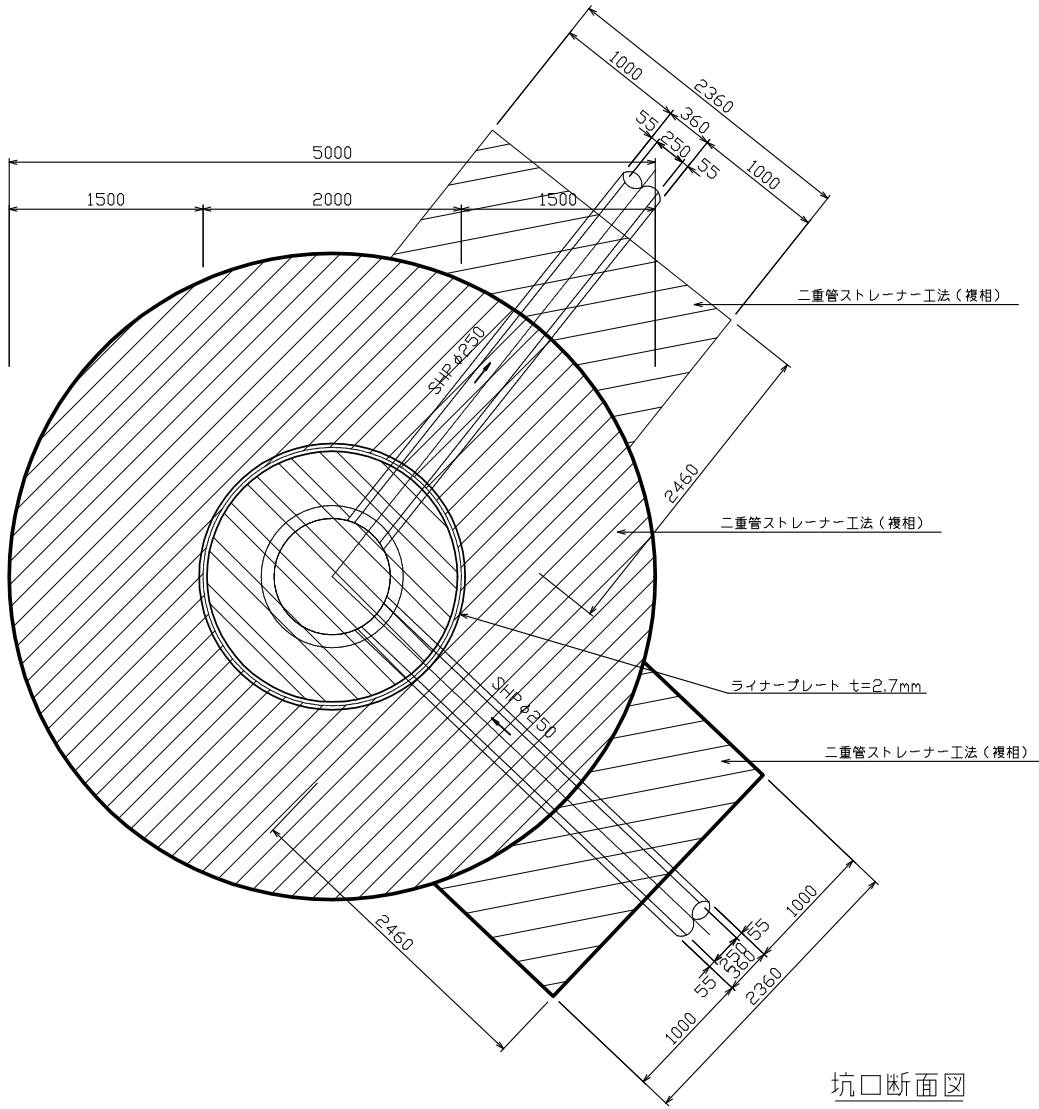
この図面は
50%縮小

件名	第1幹線下水工事(推進1工区)		
施工箇所名	名張市 富貴ヶ丘5番地 地内		
図面の種類	NO5 到達立坑仮設図		
縮尺	1:50	図面番号	7
名 張 市			

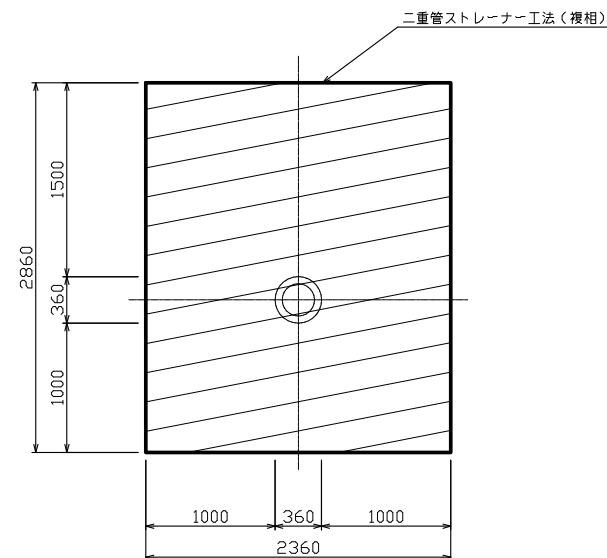
薬液注入工図(1)

No.4 両発進立坑 $S=1:30$

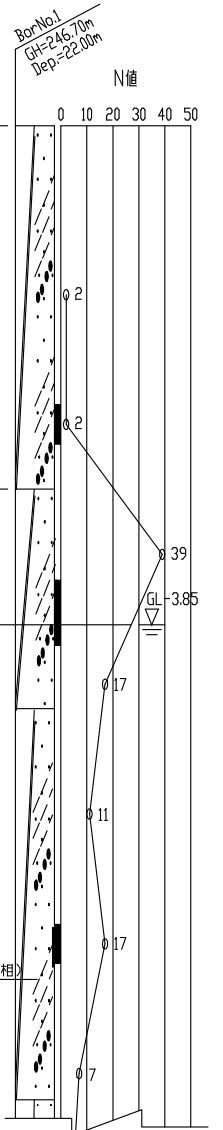
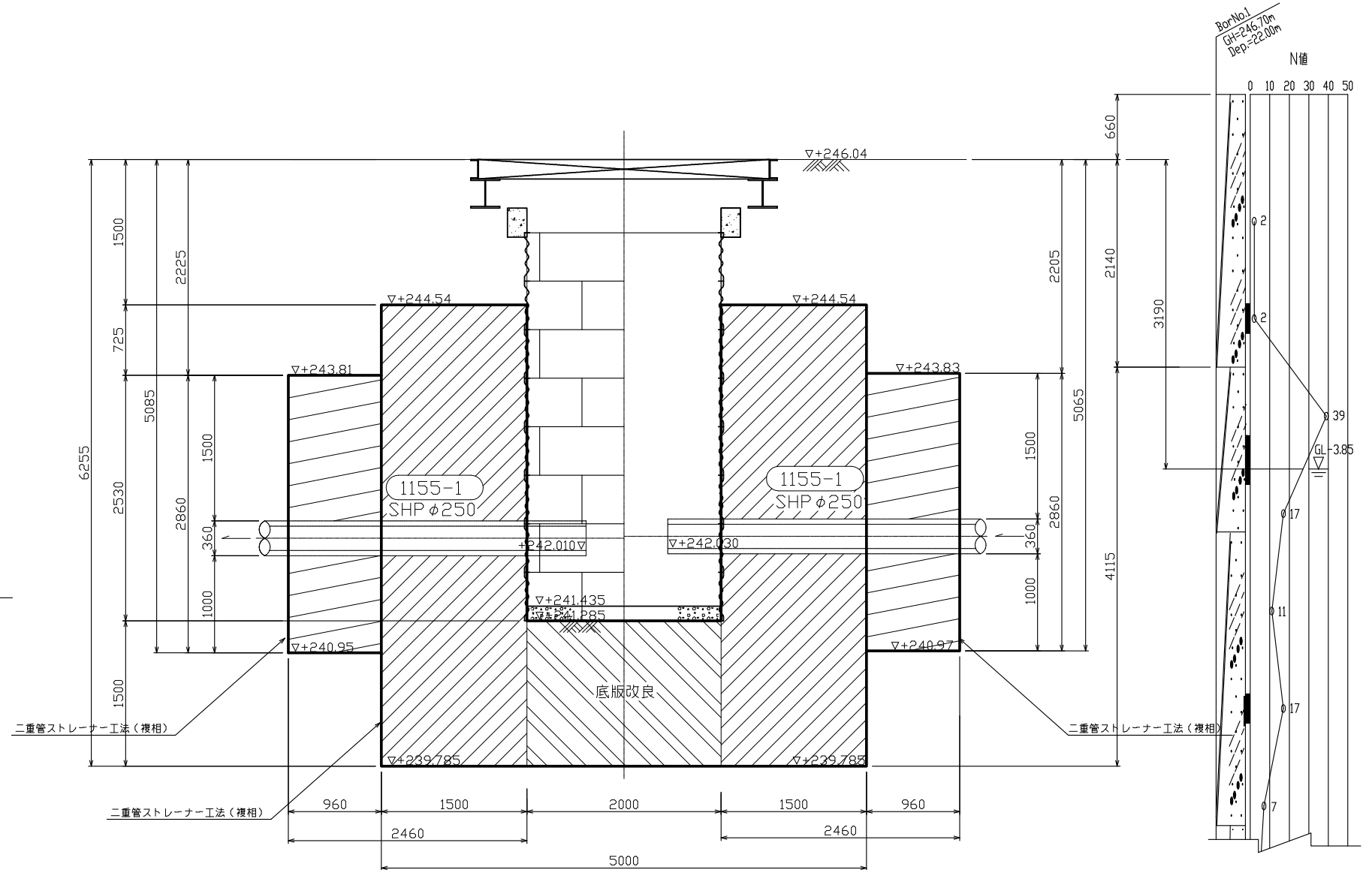
平面図



坑口断面図



断面図



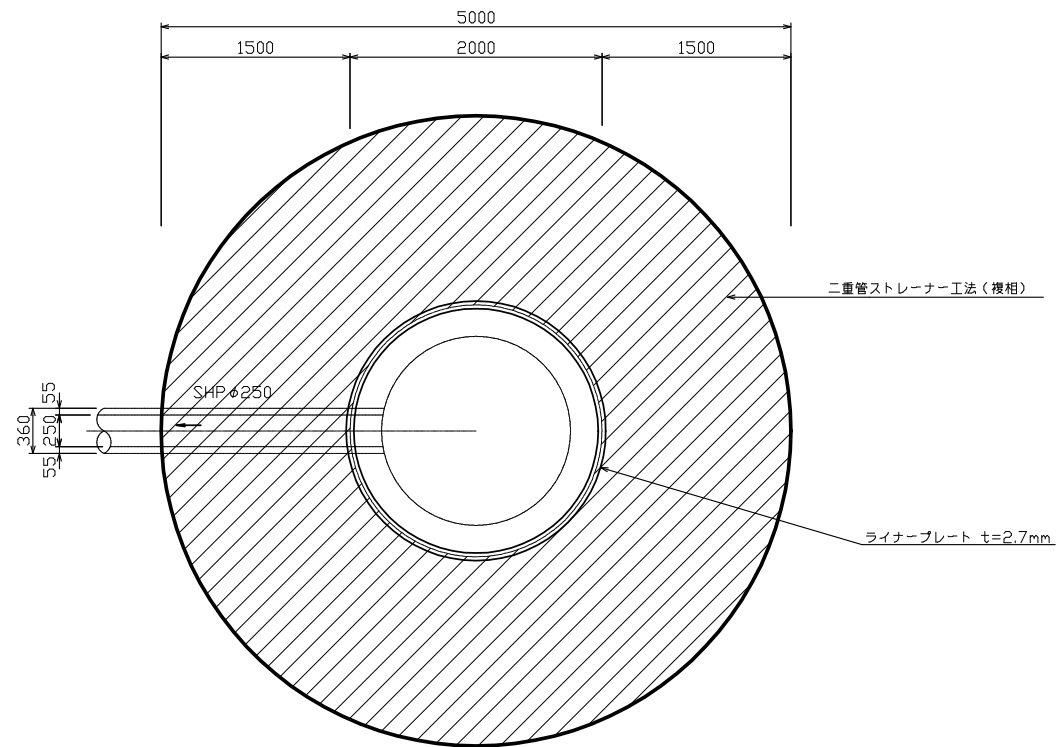
この図面は
50%縮小

件名	富1幹線下水工事(推進1工区)		
施工箇所名	名張市 富貴ヶ丘5番地 地内		
図面の種類	薬液注入工図(1)		
縮尺	1:30	図面番号	8
名張市			

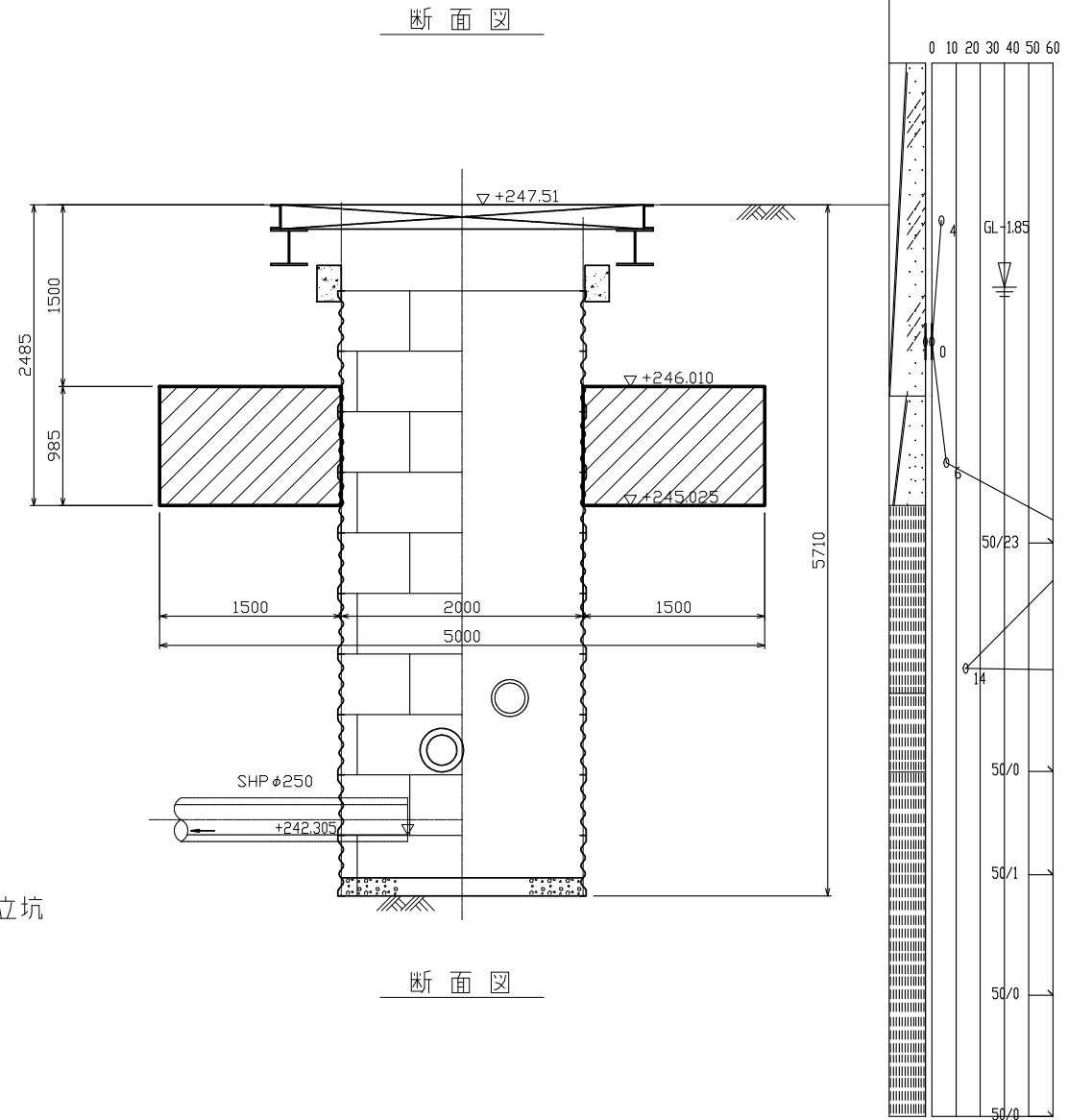
薬液注入工図(2)

No.5 到達立坑 $S=1:30$

平面図

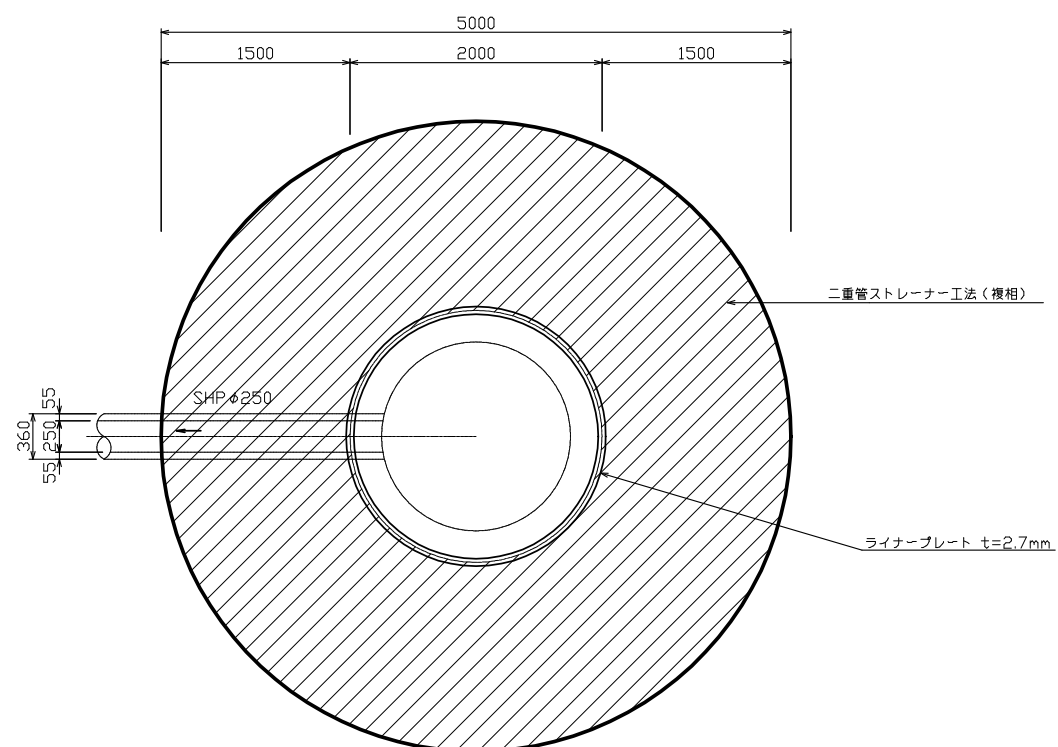


断面図

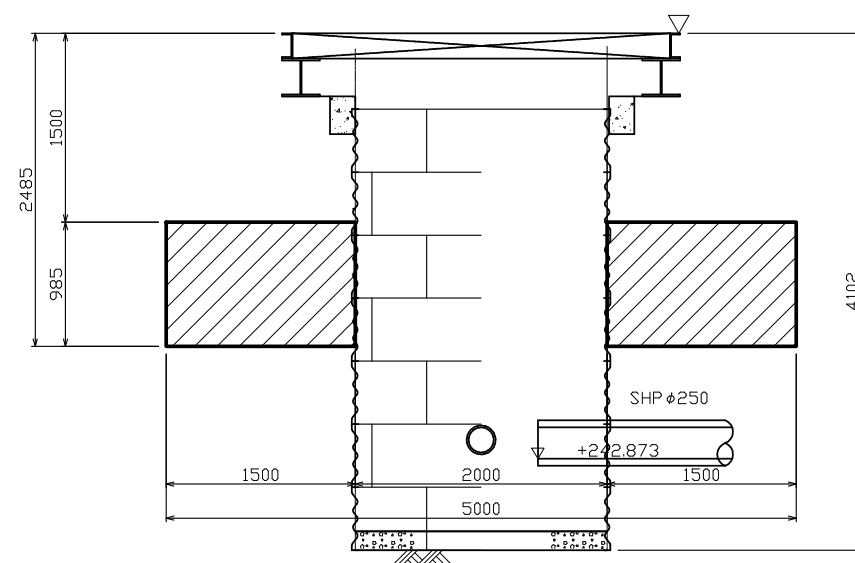


No.6 発進立坑

平面図



断面図



この図面は
50%縮小

*No.6発進はNo.5到達の土層が平行しているものとする。

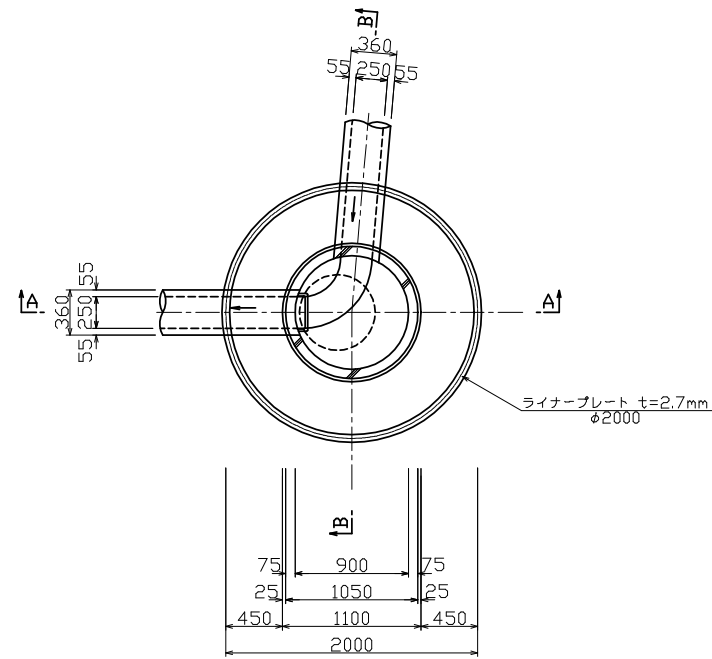
件名	富1幹線下水工事(推進1工区)		
施工箇所名	名張市 富貴ヶ丘5番地 地内		
図面の種類	薬液注入工図(2)		
縮尺	1:30	図面番号	9
名 張 市			

1155-1 M2 1号組立マンホール構造図

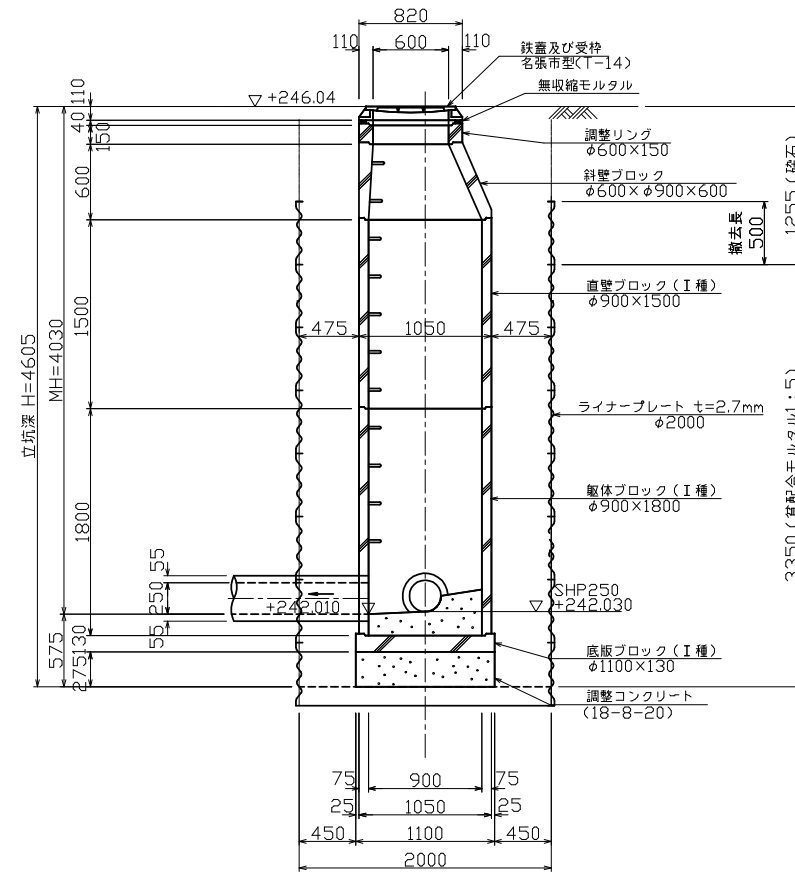
(No.4 両発進立坑)

S = 1 : 30

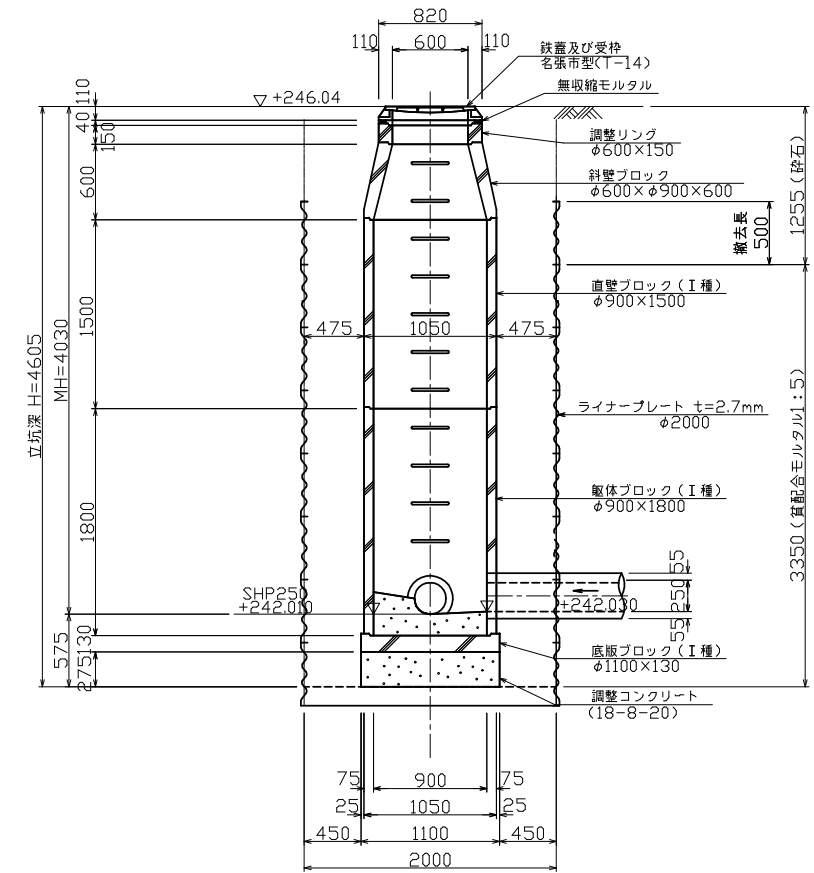
平面図



A-A断面図



B-B断面図



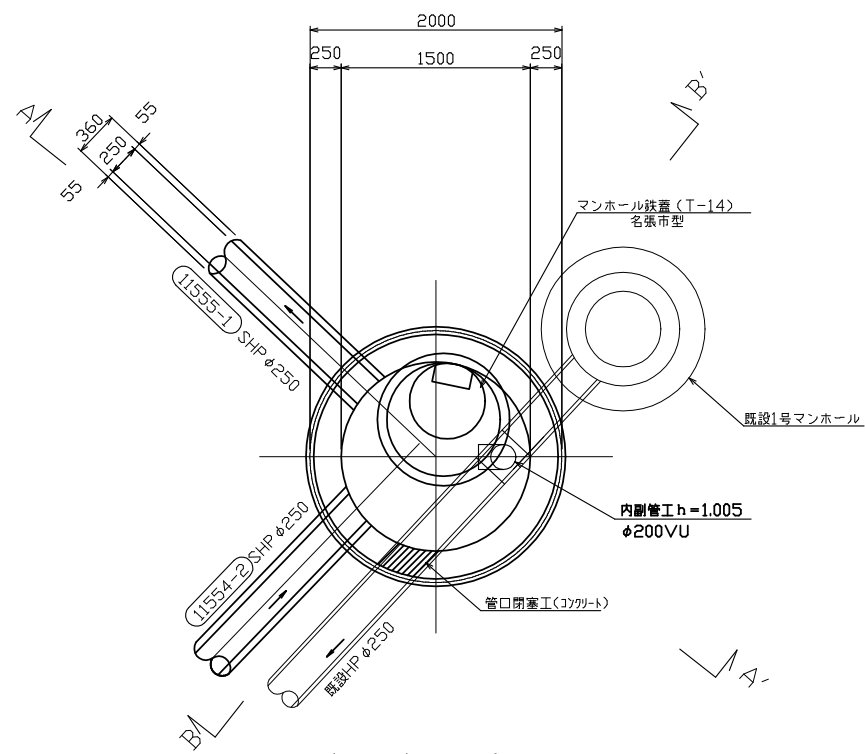
この図面は
50%縮小

件名	富1幹線下水工事(推進1工区)		
施工箇所名	名張市 富貴ヶ丘5番地 地内		
図面の種類	1155-1 M2 1号組立マンホール構造図		
縮尺	1 : 30	図面番号	10
名 張 市			

1155-1M3 現場打ち3号マンホール構造図

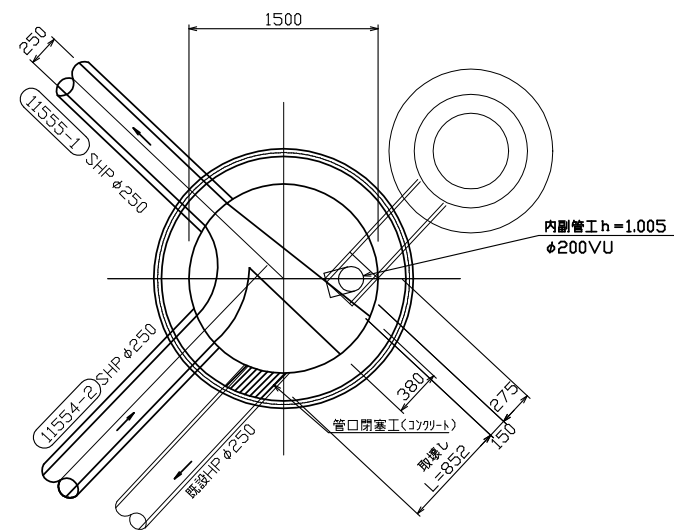
S=1:30

平面図

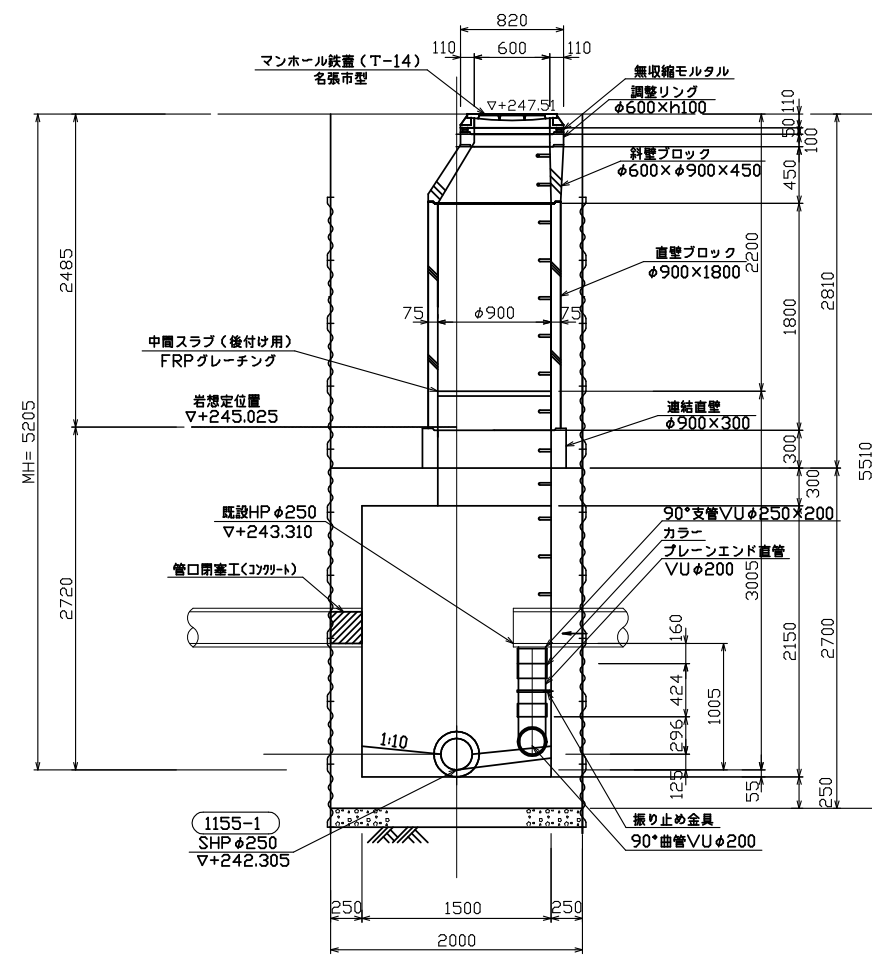
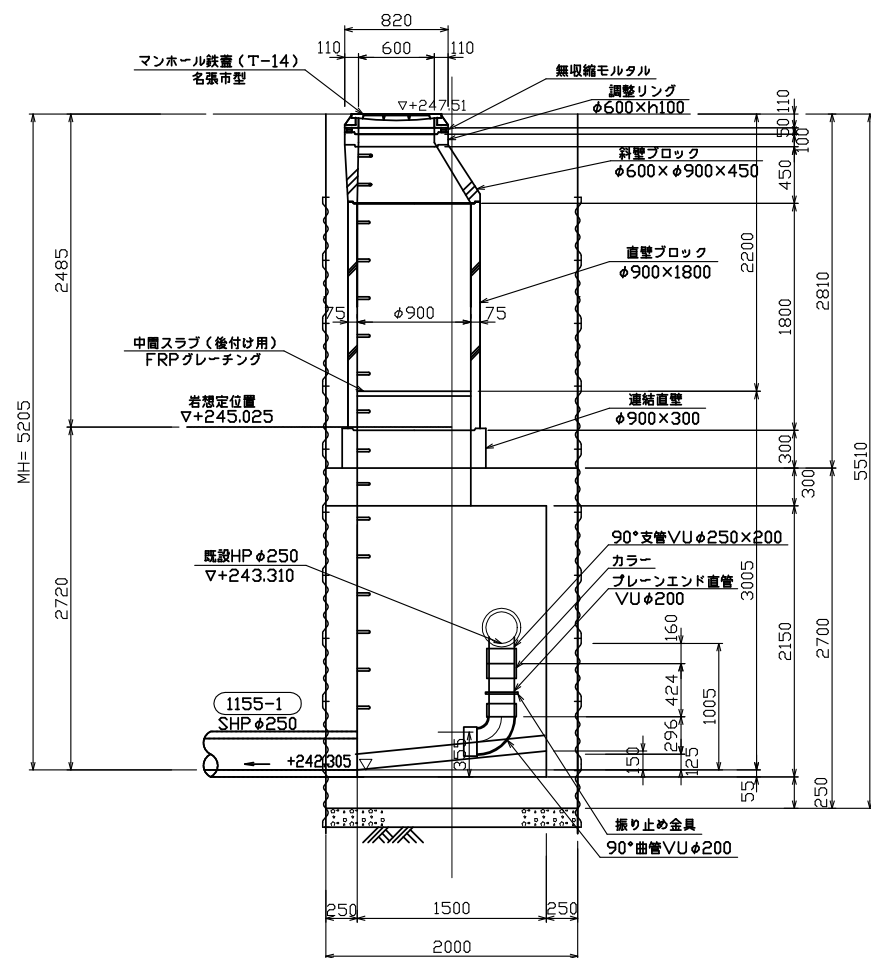


A-A' 断面図

底部工



B-B' 断面図



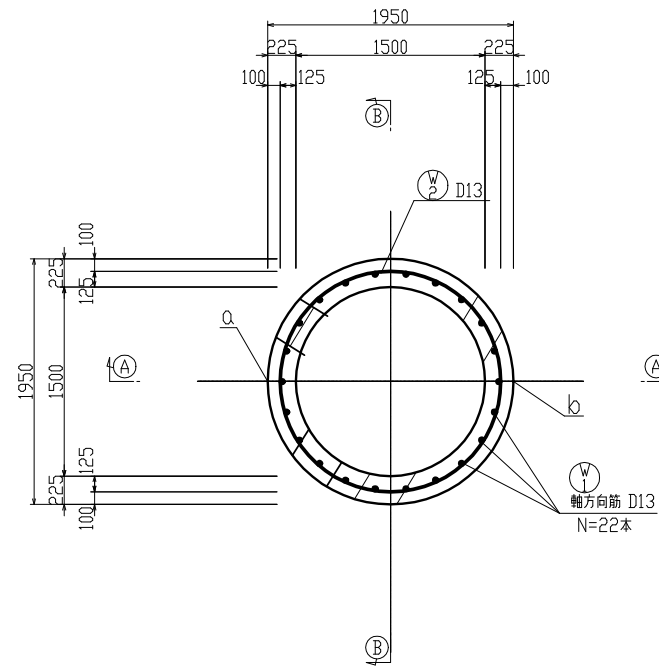
この図面は
50%縮小

件名	富1幹線下水工事(推進1工区)		
施工箇所名	名張市 富貴ヶ丘5番地 地内		
図面の種類	1155-1M3 現場打ち3号マンホール構造図		
縮尺	1:30	図面番号	11
名張市			

1155-1M3 現場打ち3号マンホール配筋図(1)

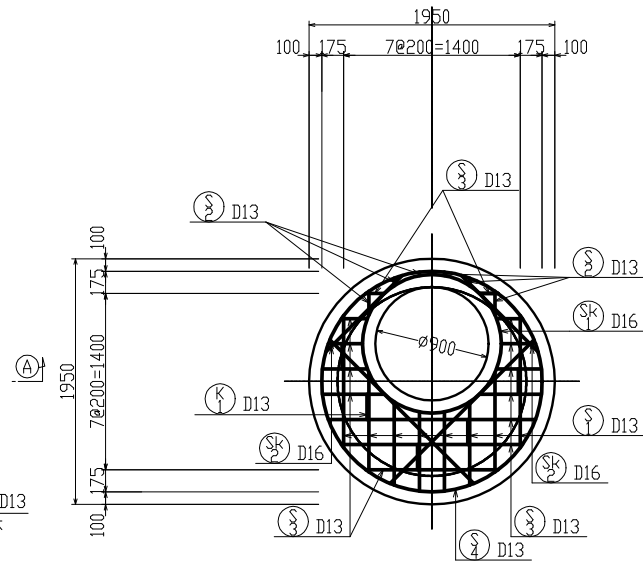
S=1:30

水平断面図

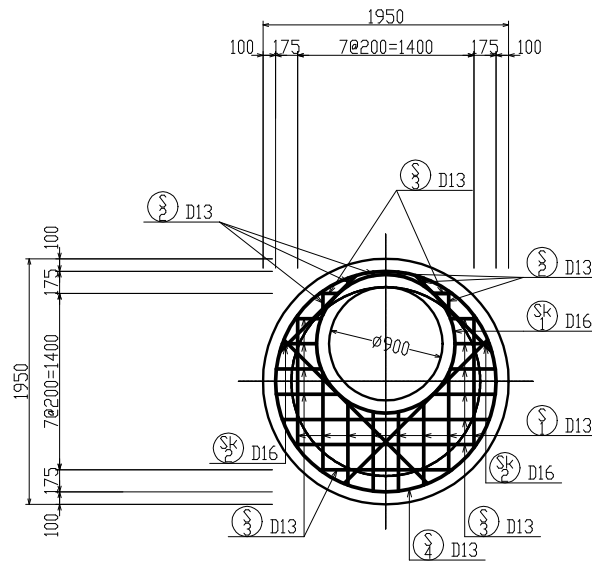


頂版

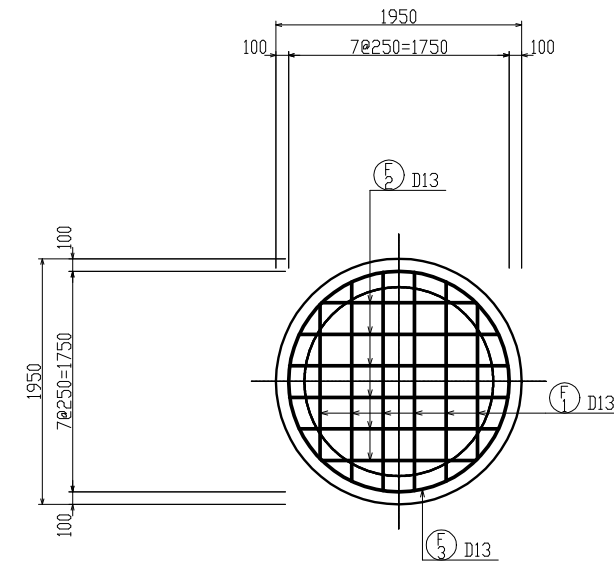
上面



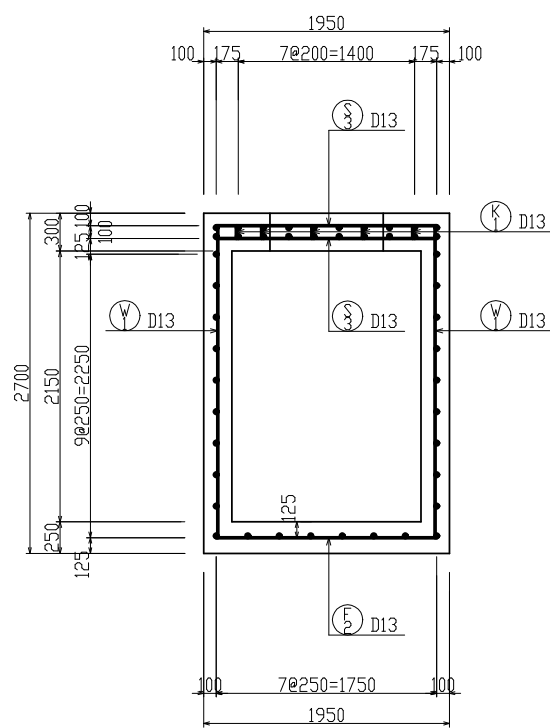
下面



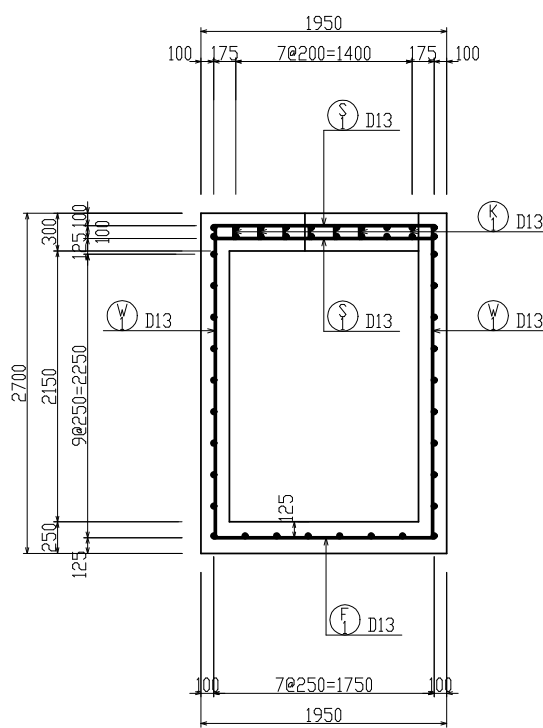
底板



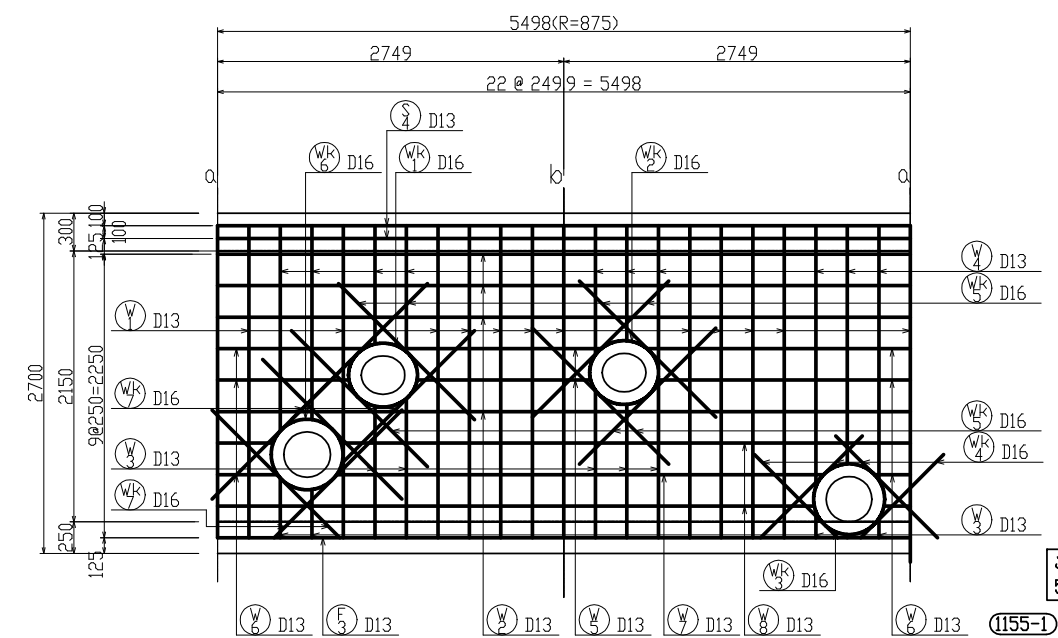
①-① 断面図



②-② 断面図

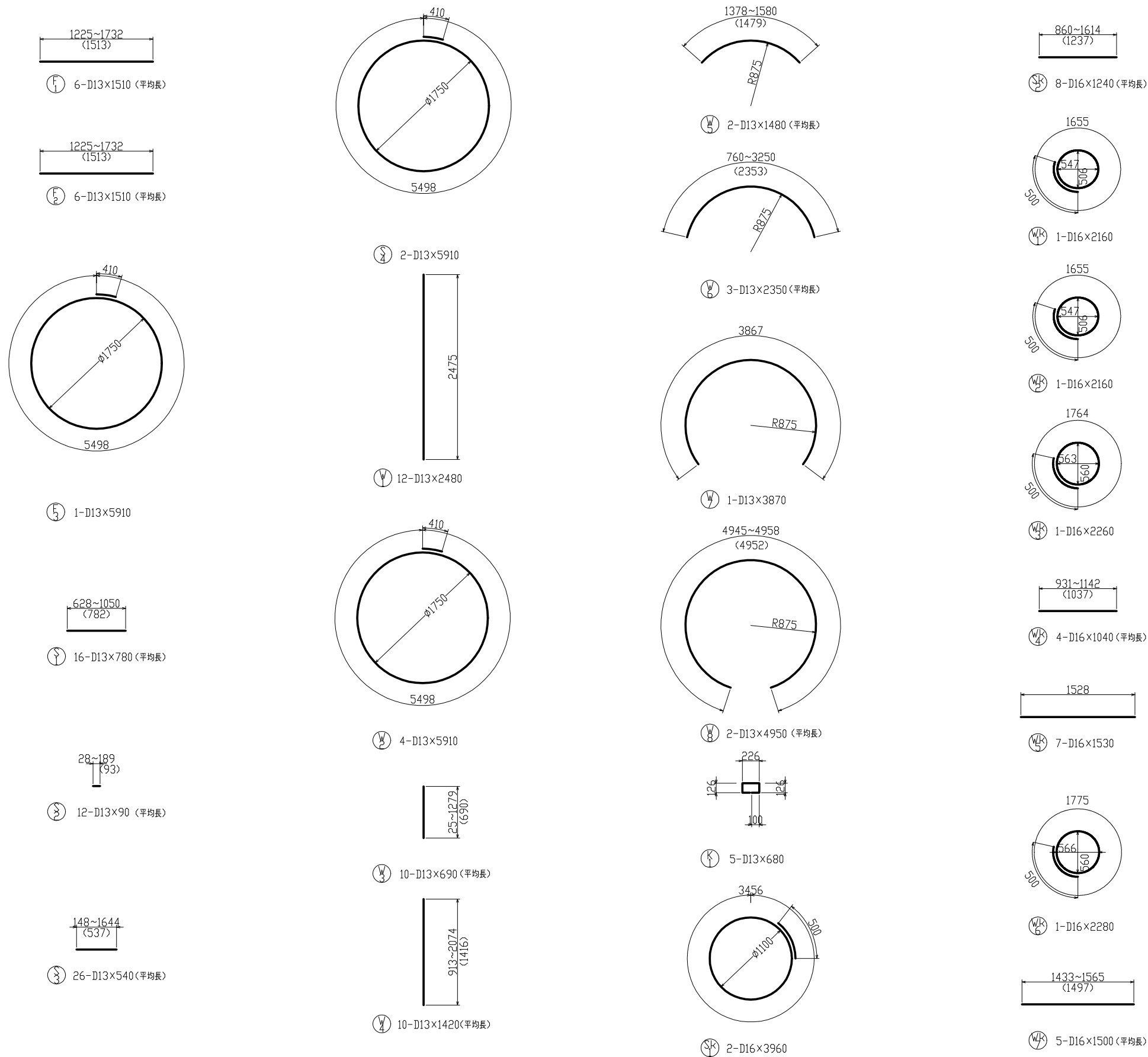


側壁展開図



件名	雷1幹線下水工事(推進1工区)		
施工箇所名	名張市 富貴ヶ丘5番地 地内		
図面の種類	1155-1M3 現場打ち3号マンホール配筋図(1)		
縮尺	1:30	図面番号	12
名 張 市			

1155-1M3 現場打ち3号マンホール配筋図(2) S=1:30



鉄筋質量表

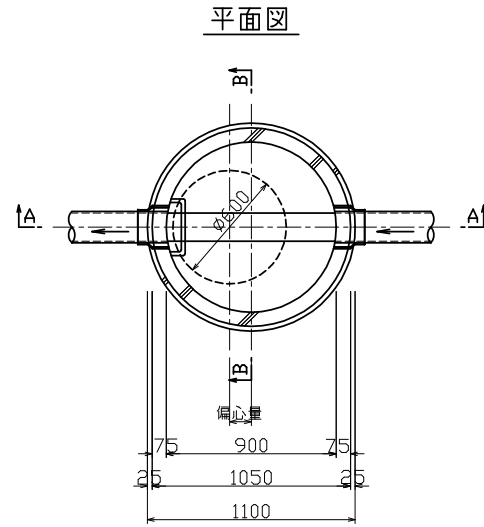
種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
F 1	D13	1510	6	0.995	1.502	9.0	— 平均長
F 2	D13	1510	6	0.995	1.502	9.0	— 平均長
F 3	D13	5910	1	0.995	5.880	5.9	○
S 1	D13	780	16	0.995	0.776	12.4	— 平均長
S 2	D13	90	12	0.995	0.090	1.1	— 平均長
S 3	D13	540	26	0.995	0.537	14.0	— 平均長
S 4	D13	5910	2	0.995	5.880	11.8	○
W 1	D13	2480	12	0.995	2.468	29.6	—
W 2	D13	5910	4	0.995	5.880	23.5	○
W 3	D13	690	10	0.995	0.687	6.9	— 平均長
W 4	D13	1420	10	0.995	1.413	14.1	— 平均長
W 5	D13	1480	2	0.995	1.473	2.9	○ 平均長
W 6	D13	2350	3	0.995	2.338	7.0	○ 平均長
W 7	D13	3870	1	0.995	3.851	3.9	○ 平均長
W 8	D13	4950	2	0.995	4.925	9.9	○ 平均長
K 1	D13	680	5	0.995	0.677	3.4	□
Sk 1	D16	3960	2	1.56	6.178	12.4	○
Sk 2	D16	1240	8	1.56	1.934	15.5	/ 平均長
Wk 1	D16	2160	1	1.56	3.370	3.4	○
Wk 2	D16	2160	1	1.56	3.370	3.4	○
Wk 3	D16	2260	1	1.56	3.526	3.5	○
Wk 4	D16	1040	4	1.56	1.622	6.5	/ 平均長
Wk 5	D16	1530	7	1.56	2.387	16.7	/
Wk 6	D16	2280	1	1.56	3.557	3.6	○
Wk 7	D16	1500	5	1.56	2.340	11.7	/ 平均長
					D16	76.7	kg
					D13	164.4	kg
					合計	241.1	kg

この図面は 50%縮小

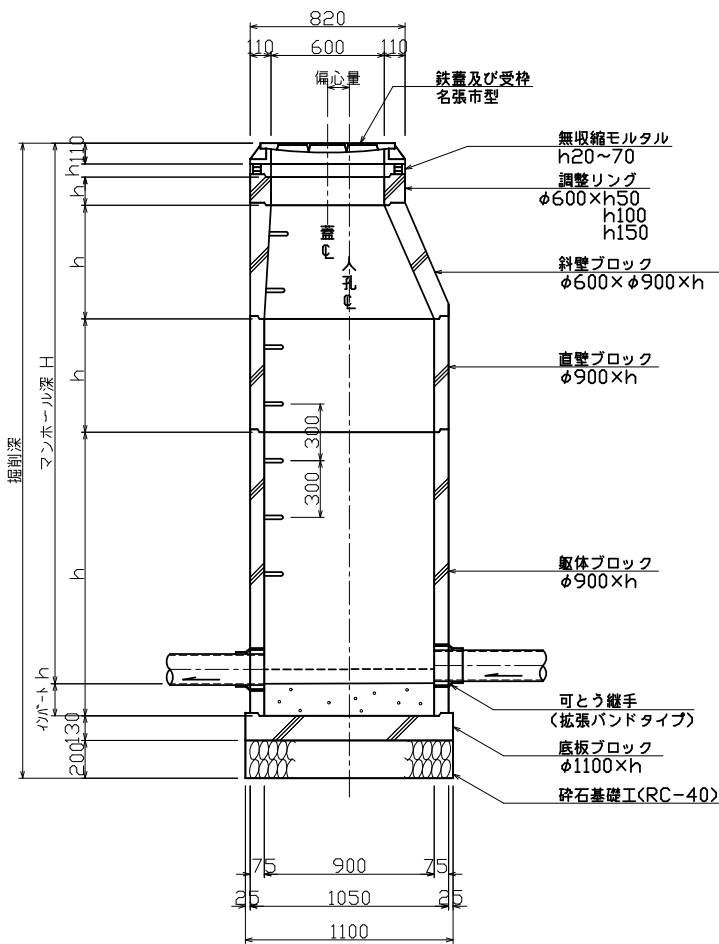
1155-1			
件名	第1幹線下水工事(推進1工区)		
施工箇所名	名張市 富貴ヶ丘5番地 地内		
図面の種類	1155-1M3 現場打ち3号マンホール配筋図(2)		
縮尺	1:30	図面番号	13
名 張 市			

設置標準図

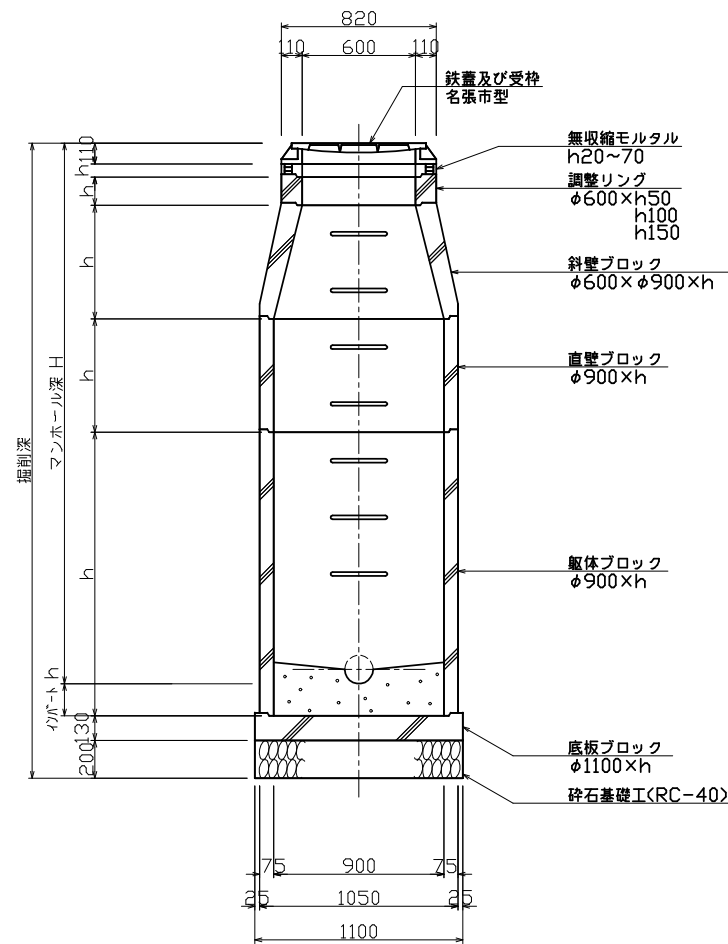
副管標準図



A-A断面図



B-B断面図

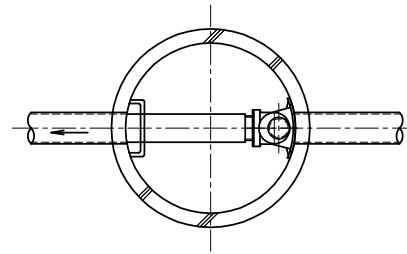


有効高さ、偏心量の例

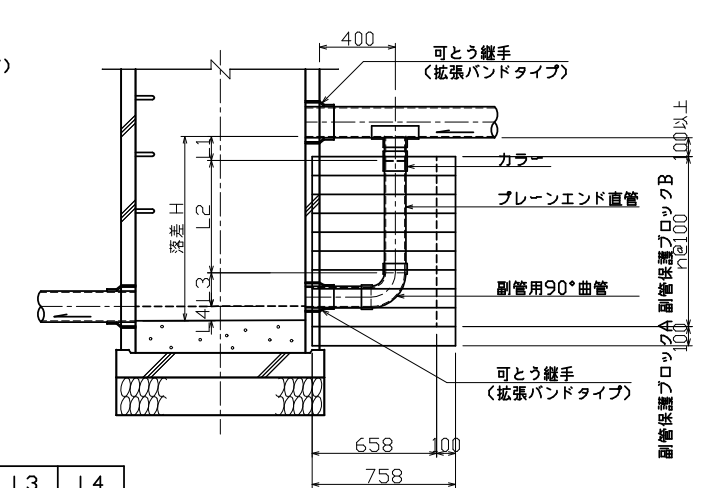
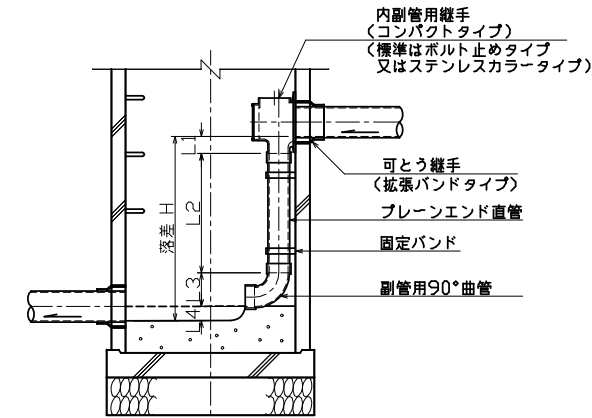
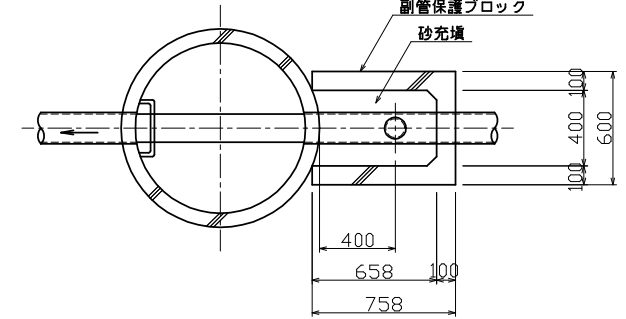
製品名(順不同)	斜壁ブロック	直壁ブロック	躯体ブロック	底板	イバート	埋設深 (人孔深+)	偏心量
コネクホール	150,300,450,600	300~2400(300ピッチ)	600~2400(300ピッチ)	130	170	+500	115
パイコンマンホール	150,300,450,600	200,300~1800(300ピッチ)	900,700~1900(300ピッチ)	<100	200	+500	130
パワーホール	150,300,450,600	300~1800(300ピッチ)	600~1800(300ピッチ)	130	160	+490	115
プレホール	150,300,450,600	150,300~2400(300ピッチ)	600~2400(300ピッチ)	130	160	+490	115
ユニホール	150,300,450,600	300~1800(300ピッチ)	600~1800(300ピッチ)	130	170	+500	115
ユニックスホール	150,300,450,600	300~1800(300ピッチ)	730~1930(300ピッチ)	<130	170	+500	115

底板寸法が<付きの物は底板付躯体の製品で、底板の寸法は躯体ブロックの寸法に含む。

内副管



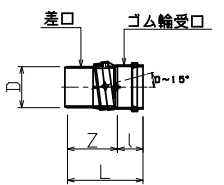
外副管



本管径	副管径	L1		L3	L4	
		内副管 ボルト止め	外副管 スリッパ			
150	100	90	205	120	178	75
200	150	61	230	140	245	100
250	200	-	-	160	296	125
300	200	-	-	160	296	150
350	200	-	-	160	296	175

* 内副管のL1は参考値である

V型自在継手



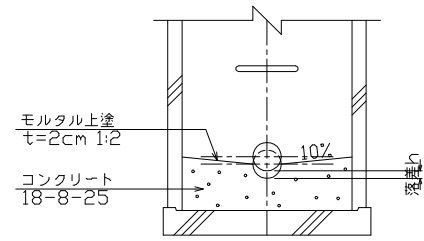
呼び径	D	L	l	Z
150	165	375	165	210
200	216	425	185	240
250	267	505	205	300

- 適用管径は内径600mm以下の中間点、450mm以下の会合点とする。
- マンホール深は5.00mまでとする。
- 落差が0.60m以上である場合は副管を設置する。
- 副管は内副管(コンパクトタイプ)を標準とするが、管径により継手製品が無い場合や多数の副管が付く場合は別途検討する。
- 落差が3.80m以上である場合はマンホール底部の洗掘防止及び下水の飛散防止を考慮し副管以外も含め検討する。
- 鉄蓋は名張市型とし、車道幅員5.5m以上または大型車の通行があり交通量の多い道路はT-25を、それ以外の道路はT-14を設置する。
- 鉄蓋は、マンホール深2.0m以上の箇所、マンホール内の流体圧が鉄蓋に負荷される可能性がある箇所はロック付転落防止梯子付とする。
- 鉄蓋は、道路の屈曲部、交差点付近、勾配の大きい道路は耐スリップ型とする。
- 鉄蓋の高さ調整は、舗装仕上り高に整合させ無収縮モルタルで行う。
- 流入管の角度表示は流出管を基準として時計回りに角度を読む。
- 本管勾配が30‰-3以上の場合、V型自在継手を使用すること。但し、流出管の場合は短管(400mm)+V型自在継手とする。

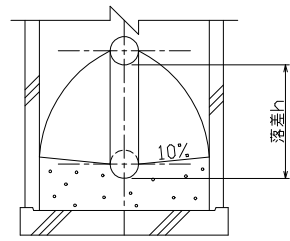
この図面は
50%縮小

件名	富1幹線下水工事(推進1工区)
施工箇所名	名張市 富貴ヶ丘5番地 地内
図面の種類	1号組立マンホール標準図
縮尺	1:20 図面番号 14
名 張 市	

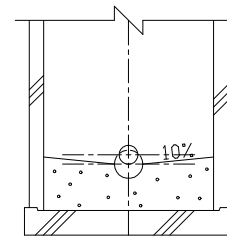
落差が小さい場合
($h \leq \text{流出管径の} 1/2$)



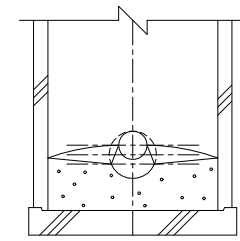
落差が大きい場合
($\text{流出管径の} 1/2 < h < 60\text{cm}$)



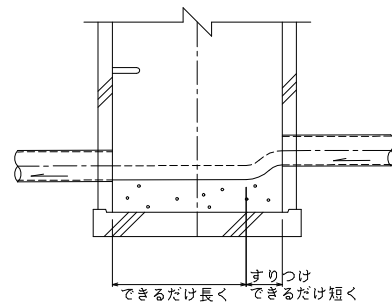
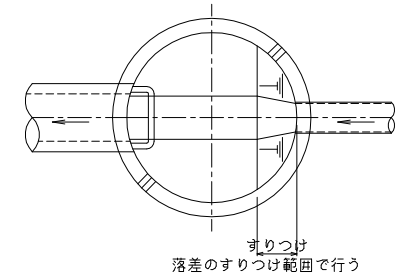
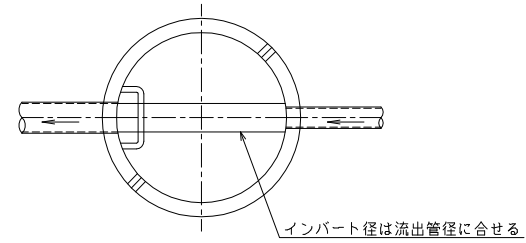
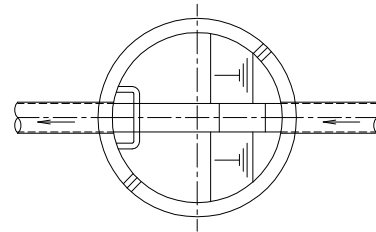
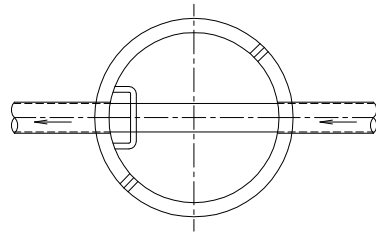
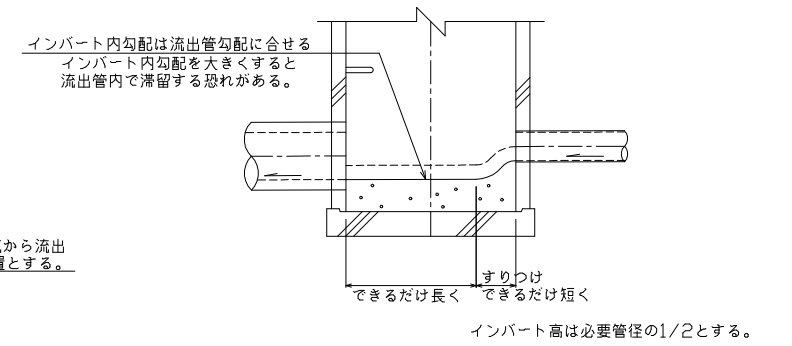
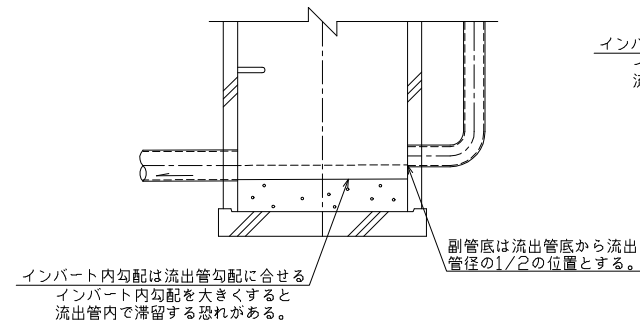
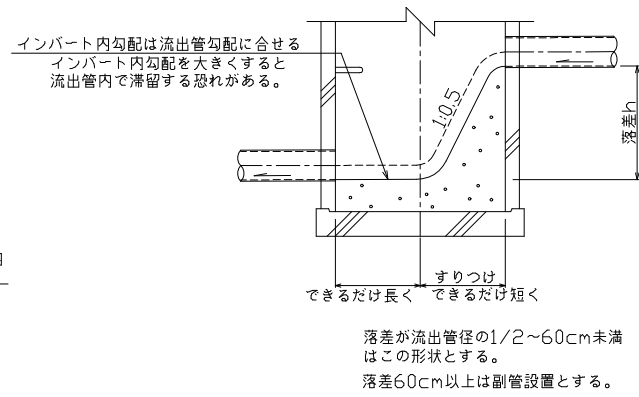
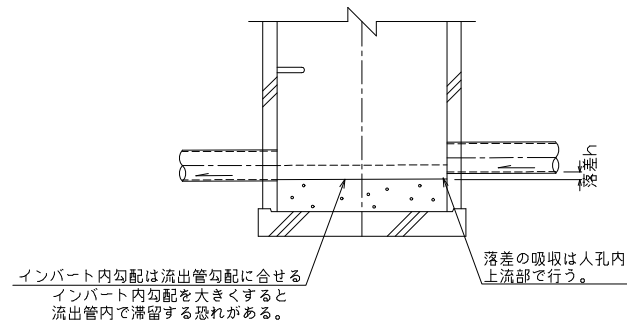
副管を設置する場合
($60\text{cm} \leq h$)



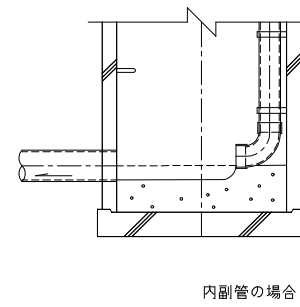
施工上管径を大きくした場合
(推進工法等施工上の理由で必要管径より管径を大きくした場合)



インバート高は必要管径の1/2とする。

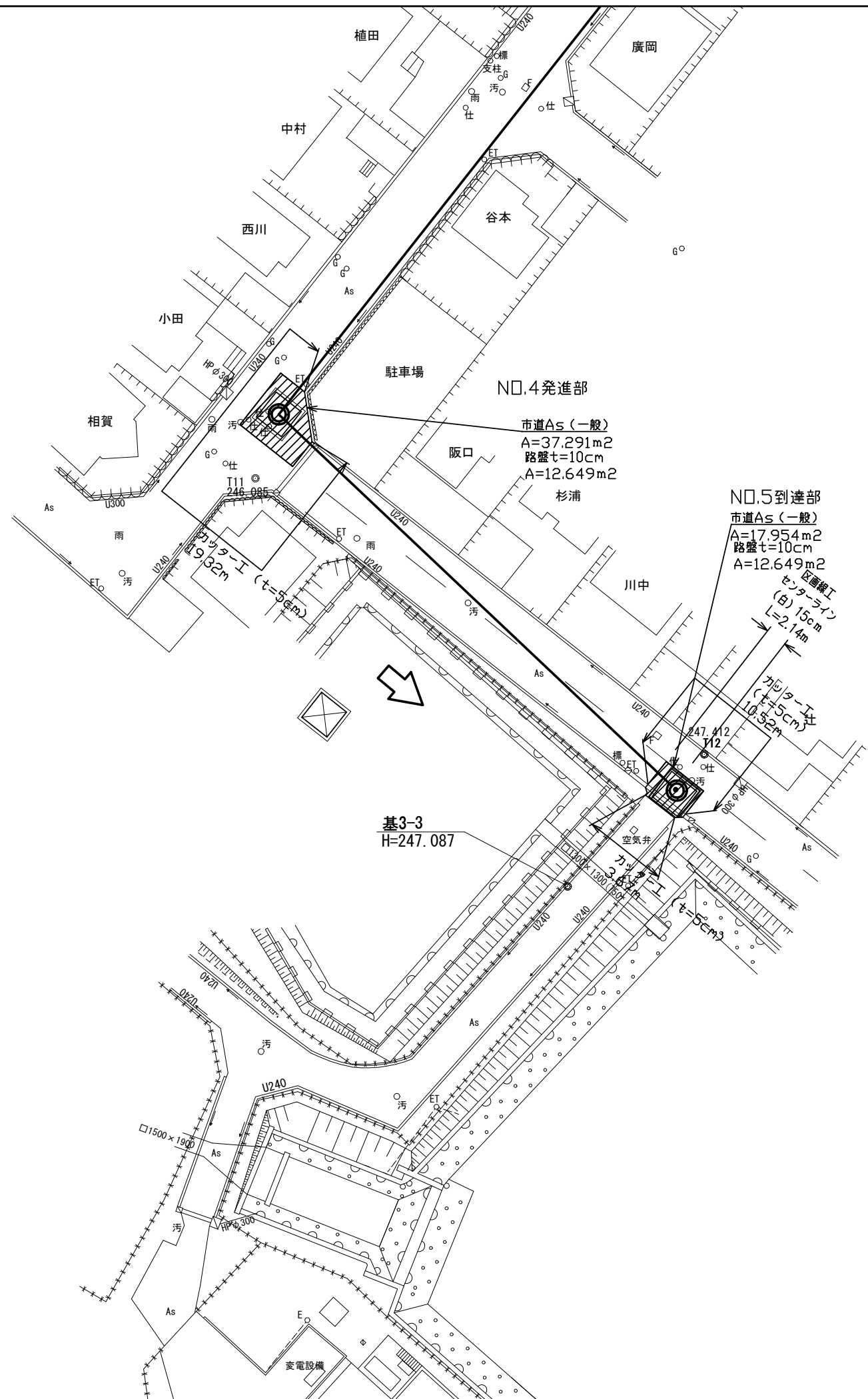
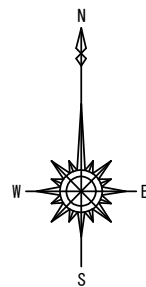


落差があまり大きくない場合でもすりつけは勾配1:0.5以内で最小範囲で行うこと。

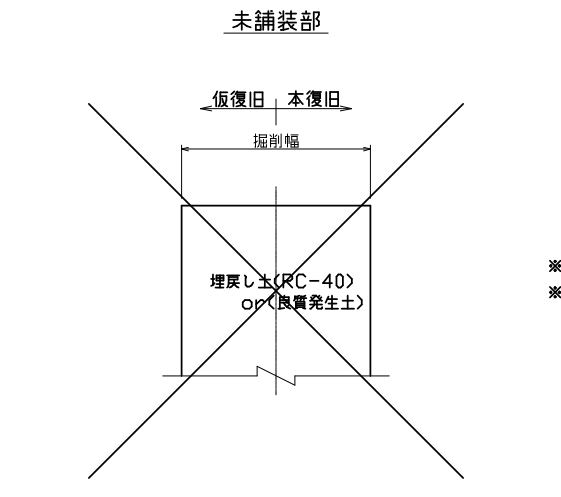
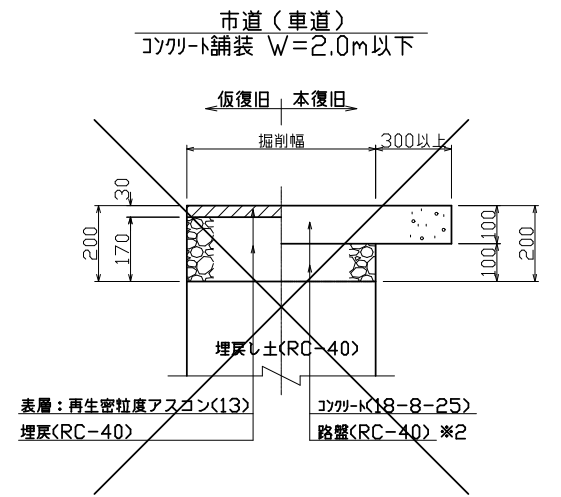
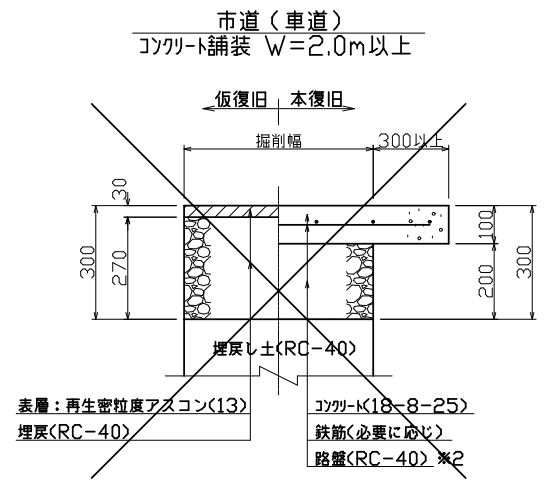
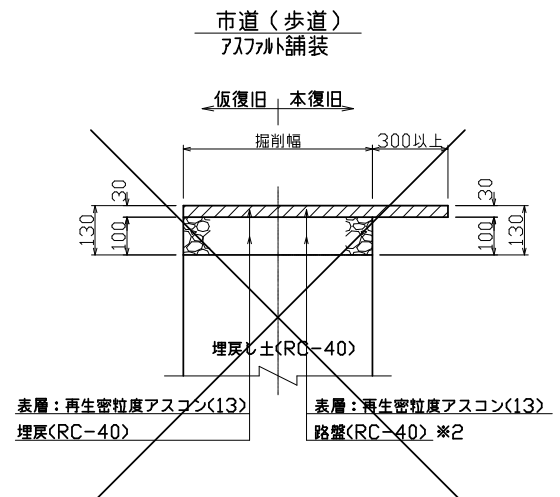
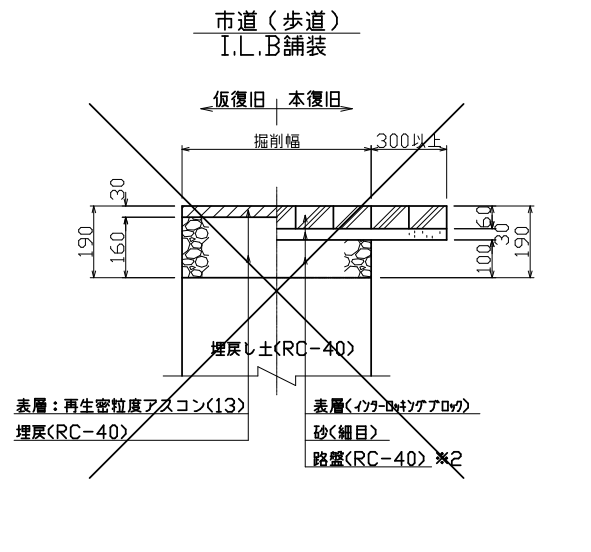
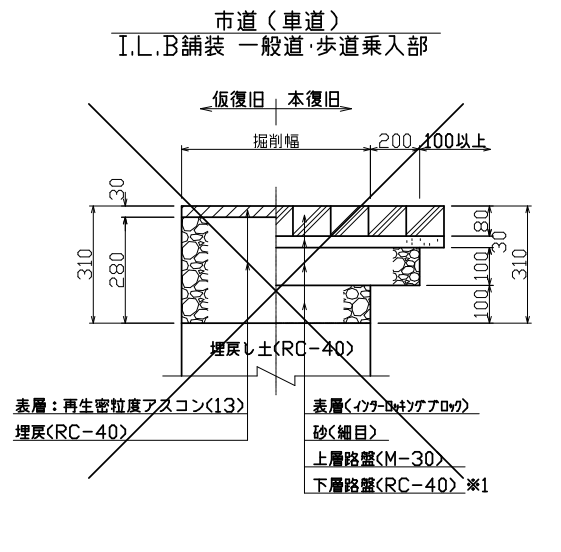
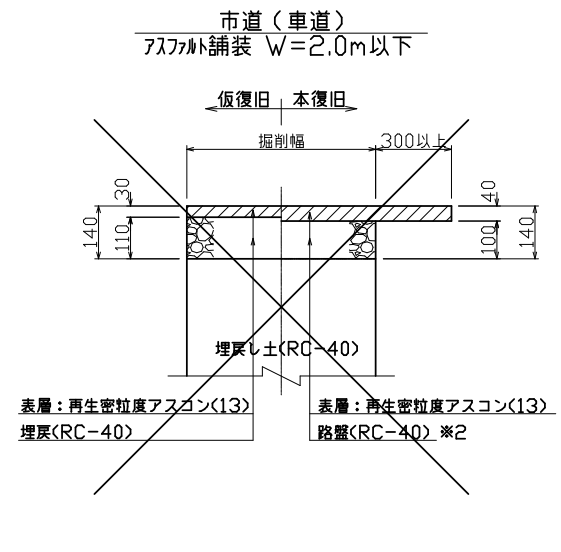
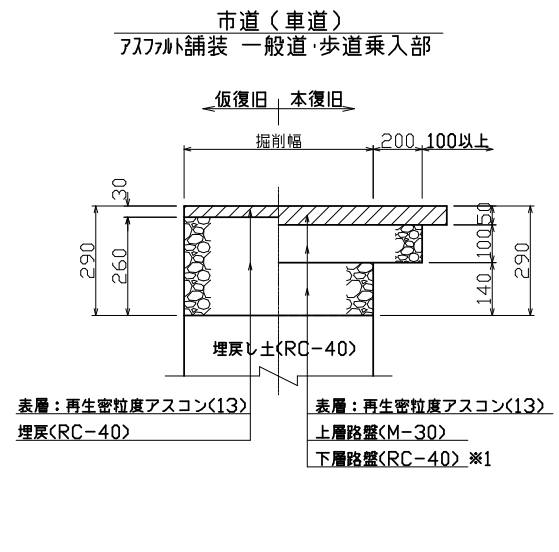
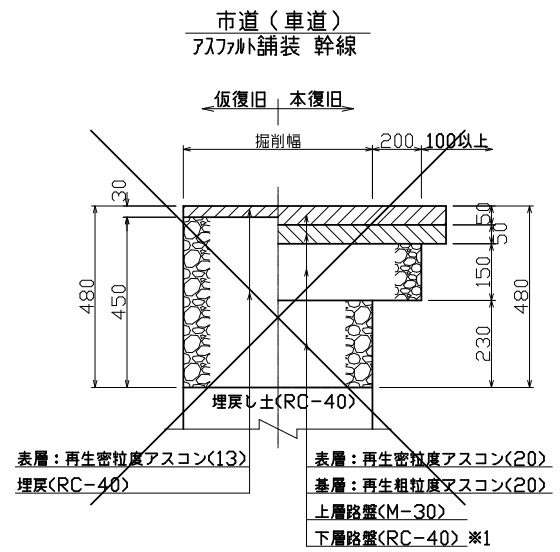
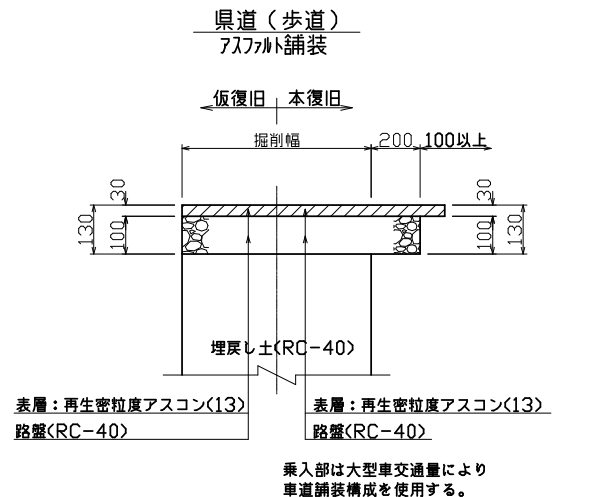
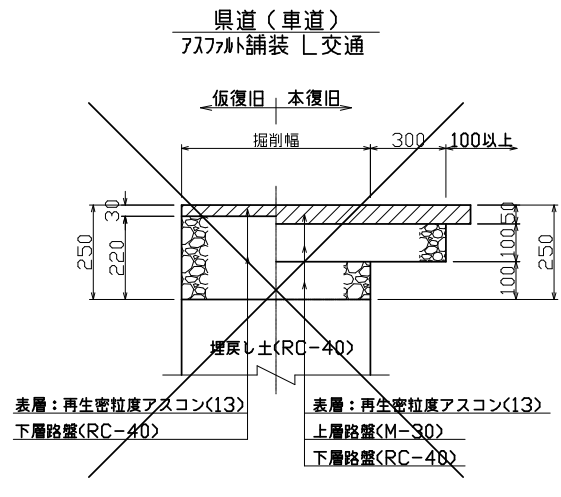
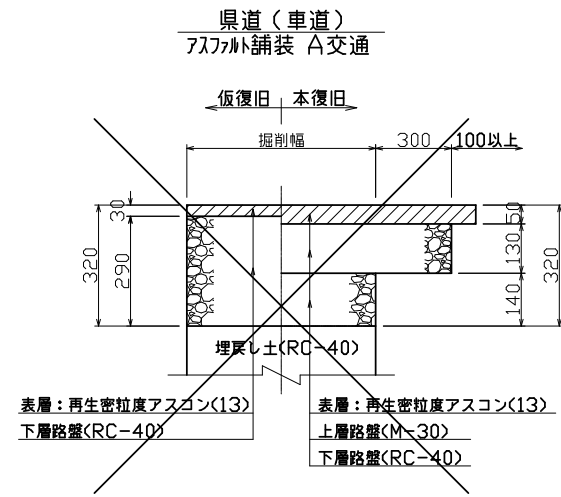
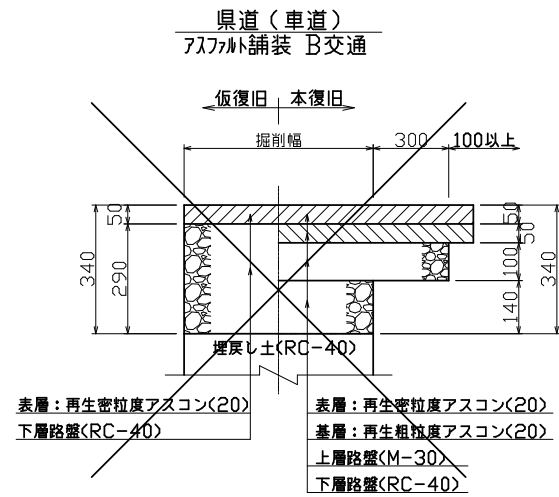
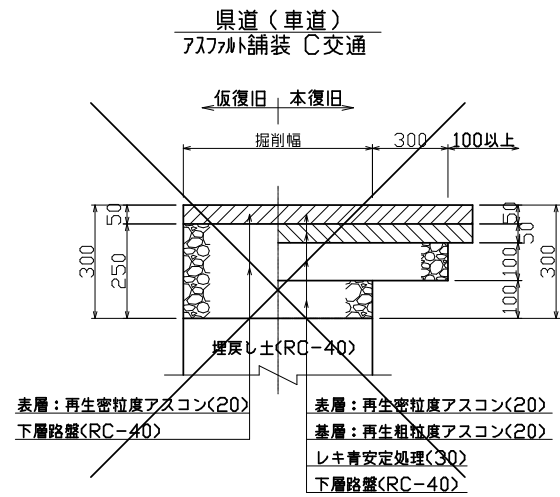


この図面は
50%縮小

件名	富1幹線下水工事(推進1工区)		
施工箇所名	名張市 富貴ヶ丘5番地 地内		
図面の種類	マンホール底部工標準図		
縮尺	1:20	図面番号	15
名 張 市			



件名	富1幹線下水工事(推進1工区)		
施工箇所名	名張市 富貴ヶ丘5番地 地内		
図面の種類	付帯工平面図		
縮尺	1:250	図面番号	16
名 張 市			



※1 仮復旧時の埋戻(RC-40)をもって下層路盤(RC-40)と見なす。
※2 仮復旧時の埋戻(RC-40)をもって路盤(RC-40)と見なす。

件名	富1幹線下水工事(推進1工区)		
施工箇所名	名張市 富貴ヶ丘5番地 地内		
図面の種類	舗装構成図		
縮尺	non	図面番号	17
名 張 市			